

←ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

中学基礎がため100%

# できた! 中3 英語

文法

別冊  
解答と解説

○のあとの数字は、まとめのページの **チェック** の番号に対応しています。

KUMON

## 中1・2 英語の復習テスト①

- 1 答 1 ウ 2 イ 3 ア  
4 エ 5 イ

考え方 ① 1 [ai] 2 [ei] 3 [t]  
4 [ou] 5 [i:]

- 2 答 1 went 2 better 3 few  
4 heard 5 swimming  
6 Chinese

考え方 ① 3 「量」と「数」の前につく形容詞。  
6 国名と言語名。

- 3 答 1 reading 2 was washing  
3 more famous 4 There were  
5 to hear

考え方 ① 2 過去進行形の文。  
3 famous は more・most で比較級・最上級を作る。  
5 原因を表す副詞的用法の不定詞。

- 4 答 1 Did 2 How many  
3 Must 4 Who[Which]  
5 Were

考え方 ① 1 答えの文の did に注目する。  
2 数をたずねる疑問文。  
4 人には Who を使うことが多い。

- 5 答 1 Be kind to old people.  
2 The temple was visited by a lot of people last year.  
3 The baby will be able to walk soon.  
4 What was Tom reading then?

考え方 ① 1 be 動詞の原形で始める。  
2 visited と過去形であることに注意。  
4 過去進行形の疑問文。

- 6 答 1 I have a lot of[much / lots of] homework to do today.  
2 I will[’ll] give you this dictionary. / I will[’ll] give this dictionary to you.  
3 This problem[question] is not[isn’t] as[so] difficult[hard] as that one.

考え方 ① 1 形容詞的用法の不定詞を使う。  
3 最後の one の代わりに problem, question を使ってもよい。

## 中1・2 英語の復習テスト②

- 1 答 1 ア 2 ウ 3 エ  
4 イ 5 エ

考え方 ① 1 [ʌ] 2 [ɔ:] 3 [θ]  
4 [ɑ:r] 5 [i:]

- 2 答 1 teeth 2 easy 3 won’t  
4 best 5 taken 6 write

考え方 ① 2 simple でもよい。  
6 同じ発音でつづりが異なる語。

- 3 答 1 better than 2 didn’t look  
3 few, little 4 cup of  
5 because

考え方 ① 2 sad は look の補語になる。  
3 friends は数えられる名詞で, money は数えられない名詞。  
5 理由を表す接続詞。

- 4 答 1 Are / there 2 Who 3 Is  
4 Which 5 May[Can], like

考え方 ① 2 答えの文の主語が複数でも Who は単数扱いにする。  
5 would like to の言い方では, like のあとに動名詞は使えない。

- 5 答 1 The doghouse wasn’t[was not] made by Tom.  
2 We are[We’re] going to leave early tomorrow morning.  
3 This new tower is the highest in Japan.  
4 He bought a new hat for her.

考え方 ① 4 buy には for を使う。

- 6 答 1 Tadashi went to America to study English.  
2 I had to wash the car yesterday.  
3 I like English (the) best of all (the) subjects.

考え方 ① 1 目的を表す副詞的用法の不定詞。  
2 have to を過去形にした文。  
3 副詞の最上級の the は省略できる。

セクション 1 -1 現在完了①

▶▶ ポイント確認ドリル P.9

- 1 答 (1) used (2) known

- (3) had (4) read (5) been  
 (6) eaten (7) heard (8) seen  
 (9) written (10) taught  
 (11) visited (12) spoken

**考え方** ① use と visit は規則動詞で、これ以外は不規則動詞。

- 2** **答** (1) have (2) has (3) never  
 (4) ever

**考え方** ① (3) 「一度も～ない」は never。  
 (4) 疑問文の「今までに」は ever。

- 3** **答** (1) I have visited the city twice.  
 (2) I have never seen the boy.

**考え方** ① (1) 回数を表す語句は文末に置く。  
 (2) never は have と過去分詞の間に。

P.10・11

- 1** **答** (1) read (2) visited (3) heard  
 (4) been (5) played (6) climbed

**考え方** ① (1) 「私はその本を何回も読んだことがあります」  
 (2) 「健はしばしばニューヨークを訪れたことがあります」 toがないので visited にする。  
 (3) 「私はその男の人について以前耳にしたことがあります」  
 (4) 「私は1度奈良に行ったことがあります」  
 (5) 「私は1度彼とゴルフをしたことがあります」  
 (6) 「彼らはしばしば浅間山に登ったことがあります」

- 2** **答** (1) 私はあの男の人を以前どこかで見かけた[に以前どこかで会った]ことがあります。  
 (2) 私の父は以前仕事でドイツに行ったことがあります。  
 (3) あなたは今までに白い象を見たことがありますか。—— いいえ、ありません。  
 (4) 私はそんなに美しい夕焼を一度も見ることがありません。

**考え方** ① (4) <such a[an]+形容詞+名詞>の語順。名詞が複数形の場合はa[an]は不要。

- 3** **答** (1) hasn't / has (2) did  
 (3) times

**考え方** ① (1) 「トムは今までにその少女と話した

ことがありますか」—「いいえ、ありません。彼女とは一度も話したことはありません」

- (2) 「いつどこでその記事を見たのですか」—「先週インターネットで見ました」  
 (3) 「その映画を何回見たことがありますか」—「1度だけ見たことがあります」

- 4** **答** (1) I have [I've] eaten the fruit before.

(2) I have [I've] sometimes been late for school.

(3) He has [He's] never heard about the ozone layer.

(4) Has Fred visited Hokkaido many times?

**考え方** ① I have, He has の短縮形はそれぞれ I've, He's になることも覚えておこう。

- 5** **答** (1) have often seen him in  
 (2) you ever visited the museum

**考え方** ① (2) ever の位置に注意しておこう。

- 6** **答** (1) I have [I've] never written a letter in English.  
 (2) Have you ever been to [visited] France?

**考え方** ① (1) write の過去分詞は written。

セクション **1**-2 **現在完了**②

▶▶ **ポイント確認ドリル**

P.13

- 1** **答** (1) for (2) since (3) for  
 (4) since (5) since

**考え方** ① (1)~(4) ten years, a long time は期間を、last year, this morning は開始時点を表す。  
 (5) これも過去の開始時点を表すが、動詞が過去形の文になっている。

- 2** **答** (1) not (2) haven't (3) Have  
 (4) Has

**考え方** ① 「継続」の否定文は have [has] と過去分詞の間に not を入れ、疑問文は have [has] を、主語の前に出す。否定文は「ない」期間の継続を表す。

- (1) 「私は今日ずっと忙しくありません」  
 (2) 「私は昨日からずっとひまではあり

ません」

- 3** 答 (1) I have known him for a long time.  
(2) Have you been busy since yesterday?

考え方 (1) 「私は彼を長い間知っています」という日本語に置きかえて考える。

P.14・15

- 1** 答 (1) been (2) lived (3) known  
(4) used (5) studied (6) had

考え方 (1) 「私は昨日からずっと忙しい」  
(2) 「彼はここに10年間住んでいます」  
(3) 「私は彼とは長年の知り合いです」  
(4) 「彼らはその車を1年間使っています」  
(5) 「私たちは2年間英語を勉強しています」  
(6) 「今週はずっとたくさん雪が降っています」

- 2** 答 (1) 彼らは小さい子どものころから仲のよい友だちです。  
(2) 私は長い間京都と奈良を訪れたいと思ってきました。  
(3) ここでは2か月間まったく雨が降っていません。  
(4) 彼らは昨日からお互いに口をきいていません。

考え方 (3) この文の we は一般の人を指している。「2か月間雨が降らない」が直訳。  
(4) 話していない状況が昨日から続いていることを表している。

- 3** 答 (1) has (2) haven't / I've, for  
(3) How

考え方 (1) 「彼はそのときからここに住んでいるのですか」—「はい、そうです」  
(2) 「彼とは長い知り合いですか」—「いいえ、そうではありません。知り合っただけの1年です」  
(3) 「ここにはどれくらい滞在しているのですか」—「1週間ここに滞在しています」

- 4** 答 (1) I have [I've] been very busy this week.  
(2) He has [He's] been dead for ten years.  
(3) I have not [haven't] seen her since

yesterday.

- (4) How long has he lived here?

考え方 (1)・(2) be 動詞の過去分詞は been。  
(4) 下線部は期間を表しているため、How long で始まる疑問文にする。

- 5** 答 (1) has been sunny for five  
(2) has Ken studied English since

考え方 (1) for five days がひとまとまり。  
(2) since this morning がひとまとまり。

- 6** 答 (1) Emi has been absent from school since yesterday.  
(2) You have not [haven't] been kind to me since then.

考え方 (1) どちらも <be 動詞 + 形容詞> の形なので、be 動詞を been にして表す。

セクション 1-3 現在完了③

ポイント確認ドリル P.17

- 1** 答 (1) just (2) already (3) gone  
(4) yet (5) haven't

考え方 (2) already はふつう have [has] と過去分詞の間にくるが、文末に置くこともあることを覚えておこう。  
(4)・(5) 現在完了にかぎらず、一般に not ~ yet で「まだ～ない」の意味を表す。

- 2** 答 (1) not (2) yet (3) Have  
(4) yet

考え方 (1) 否定文は have [has] のあとに not を入れる。疑問文は have [has] を主語の前に出す。「完了・結果」では、否定文・疑問文ともに文末に yet を置いて使うことが多い。  
(4) 疑問文に yet の代わりに already を使うと、「もう(そんなに早く)～してしまったのか」という驚きを表す言い方になる。ふつうは yet を使うようにしよう。

- 3** 答 (1) I have just opened the windows.  
(2) I have already closed the windows.

考え方 just, already はともに have [has] と過去分詞の間に入る。ただし, already は文末に置くこともある。

P.18・19

- 1** 答 (1) come (2) gone

- (3) finished (4) lost (5) been  
(6) become

**考え方** ① (1) 「健はちょうどロンドンからもどったところです」 come の過去分詞は同じ形。

- (2) 「トムは学校へ行ってしまいました」  
(3) 「私はもう宿題を終えてしまいました」  
(4) 「私はそのドアの鍵をなくしてしまいました」  
(5) 「私はちょうど郵便局へ行ってきたところです」  
(6) 「彼は偉大な科学者になりました」

**2** **答** (1) 私はジョンに私たちの休暇についての手紙をちょうど書き終えたところです。

(2) 私はめがねを持たずに[かけずに]学校へ来てしまいました。

(3) 私はもうこの物語を読み終えましたが、まだそれについてのレポートを書いていません。

**3** **答** (1) yet / have (2) yet / Where

**考え方** ① (1) 「あなたはもう部屋のそうじをしましたか」—「はい、しました。もう自分の部屋はそうじしました」

(2) 「その本は見つかりましたか」—「いいえ、まだです。—「どこに置いたのですか」—「テーブルの上に置いたと思うのですが」

**4** **答** (1) Has the English class begun yet?

(2) I have not [I haven't / I've not] done the dishes yet.

(3) Have you written your name yet?

(4) What has he bought now?

**考え方** ① (2) I have not yet done the dishes. でもよいが、みなさんは yet を文末に置く形で覚えておこう。

**5** **答** (1) has become a famous doctor  
(2) have not visited my uncle in

**考え方** ① (1) become は原形と過去分詞が同じ形。

**6** **答** (1) I have [I've] already made a lot of [many] friends here.

(2) Has the train left yet? — Yes, it has.

**考え方** ① (2) 疑問文の「もう(～したか)」は yet。

セクション 1-4 現在完了④

▶▶ ポイント確認ドリル

P.21

**1** **答** (1) just (2) times (3) since  
(4) for (5) once

**考え方** ① (1) 「完了」の「ちょうど」。  
(3) 2020は開始時点。  
(4) 「5年か6年」は期間。  
(5) only once or twice で「ほんの1回か2回」。

**2** **答** (1) yet (2) never [not]  
(3) yet (4) ever

**考え方** ① (2) 「経験」の否定文にはふつう never を使うが、not を使うこともある。  
(3) 「完了」の疑問文の「もう」は yet。  
(4) 「経験」の疑問文の「今までに」は ever。

**3** **答** (1) I have been to China twice.  
(2) He has gone to New York.

**考え方** ① (1) 「経験」の have been to ~。  
(2) 「完了・結果」の have gone to ~。

P.22・23

**1** **答** (1) already (2) once  
(3) yet (4) times (5) since  
(6) for

**考え方** ① (1) 「完了」の「もう、すでに」。  
(2) 「経験」の「1回」。  
(3) 「完了」否定文の「まだ」。  
(4) 「経験」の「～回」。  
(5) 「継続」。過去の開始時点は since。  
(6) 「継続」。期間は for。

**2** **答** (1) 私はちょうど[たった今]その青いバラを見たところです。

(2) 私は1度だけその青いバラを見たことがあります。

(3) 彼らは以前南極に行ったことがあります。

(4) 私はちょうど東京駅へ行ってきたところです。

**3** **答** (1) haven't (2) never

(3) How long

**考え方** ① (1) 「その雑誌を捨てないで」—「ああ、わかりました。あなたはまだ読んでいないのですね」

(2) 「中国を訪ねるのは今回が初めてで

すか」—「その通りです。これまで私は中国に行ったことが一度もありません」  
 (3) 「あなたはここにどれくらいいるのですか」—「今朝からずっとここにいます」

- 4** ④ (1) How long[How many days] has Ken been here?  
 (2) Where have you been since then?  
 (3) Has Emi studied English yet today?  
 (4) Jane has been here for many days.

考え方① (2) Where のあとは疑問文の語順。

- 5** ④ (1) have had no time to visit Jane  
 (2) one has lived in this house for

考え方① (1) 目的語の time に no がついた形。  
 (2) 主語が No one で実質的には否定文。

- 6** ④ (1) I have[I've] just been to the library.  
 (2) Who has[Who's] been in that room since this morning?

考え方① (1) 「完了」の have been to ~。  
 (2) Who を主語として使う。「継続」の have[has] been in ~。

セクション **1-5 現在完了進行形**

▶▶ ポイント確認ドリル P.25

- 1** ④ (1) been (2) swimming  
 (3) has (4) snowing (5) We've

考え方① 現在完了進行形の基本形(have[has] + been + ~ing)にあてはめて考える。  
 (2) swim は m を重ねて swimming。  
 (3) 主語は 3 人称・単数で has を使う。  
 (5) We have の短縮形 We've を使う。

- 2** ④ (1) have, talking (2) have, running  
 (3) has been practicing

考え方① (1) 「私たちは今朝からその問題についてずっと話し合っています」  
 (2) 「あなたは 1 時間ずっと走っています」 run は n を重ねて running になる。  
 (3) 「チームは何週間も熱心にサッカーを練習しています」 practice は e をとって practicing。

- 3** ④ (1) I have been sitting here today.  
 (2) He has been doing his homework today.

考え方① (1) sitting は sit の ~ing 形。  
 (2) 主語が 3 人称・単数なので has を使っている。do one's homework で「宿題をする」の意味。この do は一般動詞で「する」の意味。

P.26・27

- 1** ④ (1) 今雨が激しく降っています。  
 (2) ちょうど今、激しい雨がやみました[雨が降るのをやめました]。  
 (3) 今朝から(ずっと)激しく雨が降っていません[降り続けています]。

考え方① (1) 現在進行形の文。「~している」と現在進行中であることを表す。  
 (2) 「完了・結果」を表す現在完了の文。動作の完了を表す。  
 (3) 現在完了進行形の文。過去のある時点で始まった動作が現在も続いていることを表す。一般にこれからもその動作が続くことを意味することが多い。

- 2** ④ (1) watching (2) preparing  
 (3) listening (4) blowing  
 (5) studying

考え方① (1) watch TV で「テレビを見る」。  
 (2) prepare dinner で「夕食を用意する」。prepare は e をとって preparing。  
 (3) listen to ~ で「~を聞く」。この意味では listen のあとに必ず to がつく。  
 (4) blow は「(風などが)吹く」の意味。  
 (5) study English で「英語を勉強する」。

- 3** ④ (1) been (2) Have / haven't  
 (3) long / I've

考え方① (1) 「あなたはそのときからずっとここで待っているのですか」—「はい、そうです」 have で答えていることに注目する。  
 (2) 「あなたは今朝からずっとピアノを弾いているのですか」—「いいえ、そうではありません。今日の午後に弾き始めました」 No の答えなので、have not が入る。空所が 1 つなので短縮形にする。  
 (3) 「あなたは東京にどれくらいの間滞在し続けているのですか」—「この前の日曜日からずっとここに滞在しています」期間をたずねるのは How long。答えの

文の空所が1つなので、I have の短縮形を使う。We've でもよい。

- 4** 答 (1) Has Emi been writing this letter since then?  
(2) How long has it been snowing?  
(3) Where have they been playing basketball?  
(4) Who has been playing the piano there?

**考え方** ① (1) 「絵美はそのときからずっとこの手紙を書いているのですか」〈Have[Has] + 主語 + been + ~ing 形 ...?〉が基本形になる。  
(2) 「どれくらい雪が降り続けているのですか」 期間をたずねるのは How long. このあとに疑問文の語順を続ける。  
(3) 「彼らはどこですとバスケットボールをしているのですか」 場所をたずねる疑問詞は Where. このあとに疑問文の語順を続ける。  
(4) 「だれがどこですとピアノを弾いているのですか」 「だれが?」と人の主語をたずねるのは Who. Who は主語としてそのまま使う。

- 5** 答 (1) has been cooking in the kitchen  
(2) long have you been looking for the key

**考え方** ① (1) 現在完了進行形の肯定文。  
(2) How long で始まる疑問文。

- 6** 答 (1) I have[’ve] been running since this morning.  
(2) Ken has been sleeping since three (o’clock).

**考え方** ① (1) run は n を重ねて running. 「今朝」は this morning. today’s morning とはしない。  
(2) 主語が3人称・単数なので has を使う。

セクション **2-1** 受動態(受け身)①

▶▶ ポイント確認ドリル P.29

- 1** 答 (1) wrote, written (2) made  
(3) took, taken (4) given

- (5) put, put

**考え方** ① (5) 原形・過去形・過去分詞が同じ形のものには cut(切る), hit(打つ), shut(閉める)などがある。

- 2** 答 (1) spoken (2) are (3) was  
(4) be

**考え方** ① (1) speak - spoke - spoken の変化。  
(2) 主語は複数で are。  
(3) ~ ago は過去を表すので was。  
(4) 未来は〈will be + 過去分詞〉。

- 3** 答 (1) This computer is not used now.  
(2) Are you invited to the party?

**考え方** ① (1) 否定文は be 動詞のあとに not。  
(2) 疑問文は be 動詞を主語の前に出す。

P.30・31

- 1** 答 (1) cooked (2) found  
(3) written (4) sent (5) heard  
(6) taught

- 2** 答 (1) この事故もまたすぐに忘れ去られるでしょう。  
(2) あなたの国では何語が話されていますか。  
(3) 昨夜は暗やみで〔の中で〕何も見えませんでした。

**考え方** ① (1) forget の過去分詞に forgot が使われることもある。

- 3** 答 (1) were planted (2) was read  
(3) wasn't made (4) don't read

**考え方** ① 書きかえた文の意味は次の通り。  
(1) 「これらの木はジェーンによって植えられました」  
(2) 「その手紙は今日健によって読まれました」  
(3) 「その箱はトムによって作られませんでした」  
(4) 「若い人たちはこの本を読みません」

- 4** 答 (1) English is taught by Ms. Green.  
(2) A new book will be written by him soon[soon by him].  
(3) When was the old tower built?  
(4) Did young people love the songs?

**考え方** ① (1) 現在の受動態。  
(2) will のあとに be + 過去分詞が続く。soon は will のあとでもよい。

- (3) When のあとは疑問文の語順になる。  
 (4) 「その歌は若い人たちに愛されましたか」→「若い人たちはその歌を愛していましたか」

**5** 答 (1) store is usually opened at ten  
 (2) often were you invited to

考え方 (1) usually の位置は be 動詞のあと。  
 (2) 回数をたずねる How often のあとに疑問文の語順を続ける。

**6** 答 (1) This letter was written by my mother.  
 (2) His name was not[wasn't] known two years ago.

考え方 (1) 過去の受動態は be 動詞を過去形に。  
 (2) 過去の受動態の否定文になる。

セクション **2-2 受動態(受け身)②**

▶▶ ポイント確認ドリル P.33

**1** 答 (1) gave, given  
 (2) worried, worried  
 (3) sent, sent (4) bought, bought

**2** 答 (1) to (2) for (3) at  
 (4) to (5) in

考え方 (1) give には to を使う。  
 (2) buy には for を使う。  
 (3) be surprised at ~で「~に驚く」。  
 (4) be known to ~で「~に知られている」。  
 (5) be interested in ~で「~に興味がある」。

**3** 答 (1) I was given water by him.  
 (2) I am interested in his car.

考え方 (1) He gave me water. の受動態。

P.34・35

**1** 答 (1) by (2) in (3) to  
 (4) for (5) at (6) of

考え方 (1) 「この本は漱石によって書かれました」  
 (2) 「この本は1890年に書かれました」  
 (3) 「この本は彼によって私に与えられました」  
 (4) 「この本は彼が私に買ってくれました」  
 (5) 「あなたは何に驚いたのですか」  
 (6) 「この机は木でできています」

**2** 答 (1) その知らせ[ニュース]は今朝友だちによって私に伝えられました。  
 (2) その山の頂上は雪でおおわれています。  
 (3) 絵美のネコはタマと呼ばれています。

考え方 (1) A friend told me the news this morning. を受動態にしたもの。  
 (2) be covered with ~で「~におおわれている」。  
 (3) call A B の受動態は A is called B.

**3** 答 (1) from (2) was born  
 (3) about (4) lost

考え方 (2) be born で「生まれる」。  
 (3) be worried about ~で「~を心配する」。  
 (4) be lost で「道に迷う」。

**4** 答 (1) We are[We're] taught English by Mr. Hara.  
 (2) A pretty doll was made (for) me by Kumi.  
 (3) The new computer is called Super-PC by Ben.

考え方 (1) 人を主語にした文に to はつかない。English is taught (to) us by Mr. Hara. の文と比べておこう。  
 (3) 「その新しいコンピュータはベンにスーパー PC と呼ばれています」の意味。

**5** 答 (1) e-mail was sent to me  
 (2) is not known to young people  
 (3) are you ashamed of

考え方 (1) 行為者が不明なので by ~ はない。  
 (2) be known to ~ の否定文。  
 (3) be ashamed of ~で「~を恥じている」。

**6** 答 (1) Are you interested in my story?  
 (2) I was not[wasn't] surprised at the story.

考え方 (1) be interested in ~ の疑問文。  
 (2) be surprised at ~ の否定文。

まとめのテスト① P.36・37

**1** 答 1 B 2 C 3 A  
 4 B 5 A

考え方 1 for ~ → 継続用法  
 2 already → 完了用法



- 3 before → 経験用法
- 4 since → 継続用法
- 5 ~ times → 経験用法

- 2** **答** 1 私の母は(その)医者によって[医者から]薬をいくらか与えられました。  
2 牛乳はバターやチーズを作るのに使われます。

**考え方** ① 1 The doctor gave my mother some medicine. を受動態にしたもの。  
2 この文の for は「~のための[に]」。

- 3** **答** 1 surprised, at  
2 not, yet    3 Was, made  
4 has, since    5 covered, with

**考え方** ① 1 at の代わりに by が使われることもある。  
2 「完了」の否定文。  
3 過去の受動態の疑問文になる。  
4 過去の開始時点は since で表す。  
5 with の代わりに by, in も使われる。

- 4** **答** 1 isn't spoken    2 have lost

**考え方** ① 1 受動態に。by ~ はなくてもこの国の人たちとわかるので省略する。  
2 「結果」を表す用法。

- 5** **答** 1 The novel wasn't[was not] written by Mr. White.  
2 How many times[How often] has Jane seen the movie?

**考え方** ① 1 もとの文が didn't と過去形なので、受動態の be 動詞は過去形にする。  
2 下線部は「回数」を表しているので、How many times[How often]を使う。

- 6** **答** 1 I have not finished my homework yet.  
2 How many students were invited to the party?

**考え方** ① 1 yet は not のあとでもよい。already が不要。  
2 How many students をそのまま主語として使う。inviting が不要。

- 7** **答** 1 I have [I've] seen him before, but I have [I've] never talked with[to] him.  
2 When was my name called? —

(It was called) A few minutes ago.

**考え方** ① 1 後半は never の否定文にする。  
2 疑問詞 When のあとに過去の受動態の疑問文の語順を続ける。

## まとめのテスト② P.38・39

- 1** **答** 1 イ    2 ア    3 ア  
4 イ    5 ア

**考え方** ① 1 speak の過去分詞は spoken。  
2 受動態の否定文になる。  
3 受動態の疑問文になる。  
4 be ashamed of ~で「~を恥じている」。  
5 be filled with ~で「~でいっぱいである」。

- 2** **答** 1 私の父は仕事でロンドンへ行ってしまいました。  
2 私の父はロンドンへ3回行ったことがあります。

**考え方** ① 1 今現在ここにはいないことを示す。  
2 「経験」を表す has been to ~。

- 3** **答** 1 never, such    2 made, from  
3 pleased, with    4 just, been  
5 finished, yet

**考え方** ① 1 「経験」の否定文になる。  
2 牛乳は原料なので from。  
3 be pleased with ~で「~が気に入る」。  
4 have just been to ~で「ちょうどへ行ってきたところだ」。「完了」の用法。  
5 「完了」の疑問文になる。

- 4** **答** 1 interested in  
2 has lived, for

**考え方** ① 1 「トムの話は私にはとてもおもしろかった」→「私はトムの話にとっても興味があった」  
2 「2年前に日本に来て、まだここに住んでいる」→「2年間ずっと日本に住んでいる」

- 5** **答** 1 His name is known to everybody.  
2 How long have they studied English?

**考え方** ① 1 be known to ~で「~に知られている」。  
2 継続の長さをたずねるのは How long。

6 答 1 I am very worried about your health.

2 Have you ever talked with my father?

考え方 ① 1 be worried about ~で「~を心配する」。ofが不要。veryは形容詞化しているworriedの前につく。  
2 「経験」の疑問文の「今までに」にはeverを使う。neverが不要。

7 答 1 Have you written the letter yet? — Yes, I have.

2 Were you surprised at the news? — No, I was not[wasn't].

考え方 ① 1 疑問文のyetは文末に置く。  
2 be surprised at ~で「~に驚く」。atの代わりにbyを使うこともある。

### セクション 3-1 分詞・動名詞①

#### ▶▶ ポイント確認ドリル

P.41

1 答 (1) using, used  
(2) speaking, spoken  
(3) giving, given  
(4) singing, sung  
(5) writing, written

2 答 (1) crying (2) used  
(3) sleeping (4) made

考え方 ① 修飾する名詞と能動の関係(～している)なら現在分詞を、受動の関係(～された)なら過去分詞を使う。

3 答 (1) Who is the girl talking with him?

(2) How much is this used car?

考え方 ① (1) with him という語句を伴っているので、後置の形にする。  
(2) 単独なので名詞の前に。〈this[that/the/a]+分詞+名詞〉の語順になる。

P.42・43

1 答 (1) reading (2) used  
(3) written (4) waiting  
(5) broken (6) standing

考え方 ① 目的語や連語に注意して動詞を決める。  
(5) 不規則動詞。break(割る, 割れる)-broke-brokenと変化する。

2 答 (1) テーブルの下で横になっている〔横

たわっている〕犬は私のおじのです。

(2) 両親は、自分たちの息子によって描かれた〔息子が描いた〕絵をほめました。

(3) タンカーは石油を運ぶ船です。

(4) 英語は世界中で話されている言語です。

考え方 ① (2) The parents admired the picture.  
+ It was painted by their son.  
(4) English is a language. + It is spoken all over the world.

3 答 (1) that running (2) made in  
(3) book read

考え方 ① (1) 〈that+現在分詞+名詞〉の語順。runの現在分詞はrunning。  
(2) by Japan としないように。  
(3) readの過去分詞は同じ形になる。most last year を伴っているので後置。

4 答 (1) Look at the little girl playing with a dog.

(2) This is the new bike given to me by my father.

(3) Don't wake the baby sleeping in the bed.

(4) These are the pictures taken by Fred.

考え方 ① いずれも他の語句を伴っているので後置の形にする。他の語句は以下の通り。

(1) with a dog  
(2) to me by my father  
(3) in the bed  
(4) by Fred

5 答 (1) want to buy a used car  
(2) know the children swimming in the

考え方 ① (1) a used car で「中古車」の意。  
(2) swimming in the river が後置の形でchildrenを修飾している。

6 答 (1) The girl playing the piano is Aya.  
(2) These are the stamps collected by Tom.

考え方 ① (1) 現在分詞が文の主語を修飾する形に。  
(2) 主語がThese(これらは)なので、stampsと複数形にする。

セクション **3-2** 分詞・動名詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.45

**1** ① イ あなたのお姉[妹]さんはその本を読み終えましたか。

エ 英語の本を読むことはとても楽しいです。

**考え方** ① アは現在進行形の文。イは動詞の目的語になる動名詞、ウは直前の名詞を修飾する現在分詞、エは主語になる動名詞。

**2** ① (1) swimming (2) to see  
(3) to go (4) saying

**考え方** ① (1) 「あなたは海で泳いで楽しみましたか」 enjoy の目的語は動名詞。  
(2) 「私はあなたに二度と会いたくありません」 want の目的語は不定詞。  
(3) 「私は大学に行くことに決めました」 decide の目的語は不定詞。  
(4) 「彼はさようならも言わずに部屋から去りました」 前置詞の目的語は動名詞。

**3** ① (1) He didn't stop crying.  
(2) She is good at running.

**考え方** ① (1) stop の目的語は動名詞。  
(2) be good at ~ing で「～することが得意である」。「へたである」には good の代わりに poor や bad を使う。

P.46・47

**1** ① (1) swimming (2) to live  
(3) coming (4) writing  
(5) to study (6) eating

**考え方** ① (1) 「私たちは全員プールで泳いで楽しみました」  
(2) 「だれもが平安に暮らしたいと思っています」  
(3) 「私のパーティーに来てくださってありがとうございます」  
(4) 「あなたはいつその手紙を書き終えましたか」  
(5) 「私は大学でアメリカの歴史を勉強することを望んでいます」  
(6) 「あなたは食べすぎをやめるべきです」

**2** ① (1) 私の父はその若い女性と話すのをやめました。  
(2) 私の父はその若い女性と話すために立ち

どまりました。

(3) (私は)あなたからお便りをもらうのを楽しみに待っています。

(4) 今夜映画を見に行くのはどうですか[見に行きませんか]。

**考え方** ① (1) talking は stopped の目的語。  
(2) 「立ちどまってその若い女性と話しました」という日本語でもよい。

**3** ① (1) without saying (2) of going  
(3) to visit

**考え方** ① (1) without ~ing で「～しないで、～することなしに」。  
(2) be afraid of ~ing で「～することを恐れる」。She is afraid to go out at night. は「彼女はこわくて夜外出できません」の意味になる。  
(3) plan to ~で「～する計画である」。

**4** ① (1) fond, running  
(2) good, playing (3) in collecting  
(4) enjoyed talking (5) talking to

**考え方** ① (1) be fond of ~ing で「～することが好きだ」。  
(2) be good at ~ing で「～することが得意である」。  
(3) be interested in ~ing で「～することに興味がある」。  
(5) stop ~ing to ... で「…するために～するのをやめる」。

**5** ① (1) Swimming in this river is very  
(2) book without using a dictionary

**考え方** ① (1) Swimming ... が文の主語。  
(2) without のあとに動名詞を使う。

**6** ① (1) He (has) finished reading the letter written in English.  
(2) My sister (has) decided to be [become] an English teacher[a teacher of English].

**考え方** ① (1) 読み終えたばかりなら現在完了が使える。finish の目的語は動名詞。  
(2) 現在もその決意に変わりがないうときは現在完了が使える。

## ▶▶ ポイント確認ドリル

P.49

- 1 答 (1) to see (2) talking  
(3) to eat (4) to know  
(5) to finish

考え方① (1) 「あなたは昨日私に会いにここに来  
ましたか」 目的を表す副詞的用法。  
(2) 「話すのをやめないで。話の結末が  
聞きたいのです」 目的語の動名詞。  
(3) 「私は何か食べるものがほしい」  
(4) 「あなたの名前と住所が知りたいの  
ですが」 would like to ~の文では, to  
~の代わりに動名詞は使えない。  
(5) 「あなたはまず自分の宿題を終わら  
せる必要があります」 名詞的用法。

- 2 答 (1) B (2) D (3) A (4) C

考え方① (1) 「私の姉(妹)は卵を買いにその店に  
行きました」  
(2) 「私には今日しなければいけないこ  
とがたくさんあります」  
(3) 「彼女は自分の家族について話し始  
めました」  
(4) 「私はその知らせを聞いてうれしか  
った」

- 3 答 (1) I don't want to see her.  
(2) He went there to study music.

考え方① (1) 名詞的用法の want to ~の否定文。  
(2) 目的を表す副詞的用法。

P.50・51

- 1 答 (1) B (2) A (3) C (4) C  
(5) B (6) A

考え方① A: 「火遊びは危険です」 名詞的用法。  
B: 「私に何か飲むものをください」 形  
容詞的用法。  
C: 「彼はお金をたくさんかせぐために一  
生けんめい働きました」 副詞的用法。  
(1) 「京都には見るべきものがたくさん  
あります」  
(2) 「彼はその会合に行くことに決めま  
した」  
(3) 「私は切手を買いにそこに行くところ  
です」

- (4) 「子どもたちは物事を学ぶために学  
校へ行きます」  
(5) 「私は旅行中に読む本を買いました」  
(6) 「食べすぎは健康に悪い」

- 2 答 (1) その車はあなたを駅に連れて行くた  
めに待っているところです。  
(2) 私たちの計画はその砂漠を歩いて横切る  
ことでした。

考え方① (1) take ~ to ... で「~を…に連れて行  
く」の意味。  
(2) この文の plan は名詞。

- 3 答 (1) to read (2) to drink  
(3) to do (4) your plan

考え方① (1) 「本を読まなければならない」→「読  
むべき本がある」  
(2) 「何も飲みたくない」→「飲むべきも  
のを何もほしくない」  
(3) 「忙しい」→「すべきことがたくさん  
ある」  
(4) 「あなたは明日何をしようと計画して  
いるか」→「明日のあなたの計画は何か」

- 4 答 (1) エ (2) ア (3) オ (4) ウ  
(5) イ

考え方① (1) to give ... は形容詞的用法。  
(2) To get ... は名詞的用法。  
(3) to see ... は副詞的用法。  
(4) to hear ... は副詞的用法。  
(5) to help ... は名詞的用法。

- 5 答 (1) will be surprised to hear the  
(2) had a lot of books to

考え方① (1) 「彼女はその知らせを聞いて驚くで  
しょう」  
(2) 「私には読むべき本がたくさんあり  
ました」

- 6 答 (1) I was very happy [glad] to see  
you again.  
(2) I have [I've] no time [I don't have  
(any) time] to play with you.

考え方① (1) 前に会った人に「会う」というとき  
は, meet ではなく see を使うのがふつう。  
(2) 形容詞的用法にする。

セクション **4-2 不定詞②**

▶▶ ポイント確認ドリル P.53

**1** 答 (1) how (2) where (3) what

考え方 ① (1) how to ~で「～のしかた」。  
(2) where to ~で「どこで～したらよいか」。  
(3) what to ~で「何を～したらよいか」。

**2** 答 (1) to come (2) to help  
(3) to study (4) tell

考え方 ① (1) 「彼に私の部屋に来るように言ってください」  
(2) 「私は彼女に私を手伝ってくれるように頼みました」  
(3) 「私はあなたにもっと一生けんめい英語を勉強してもらいたい」  
(4) 「あなたは彼に家にいるように言いましたか」 sayはこの形の文型に使うことはできない。

**3** 答 (1) I know how to cook fish.  
(2) Tell him to wash the car.

考え方 ① (1) how to ~で「～のしかた」。  
(2) 命令文になっている。

P.54・55

**1** 答 (1) what, do (2) to start[begin]  
(3) which to

考え方 ① (3) which (...) to ~で「どちらの(...)を～すべきか」。

**2** 答 (1) 彼女は車掌はどこで列車[電車]を降りたらいいかたずねました。  
(2) 私はだれかにこの手紙を郵便局まで持って行ってほしい。  
(3) 彼は(その)新しいコンピュータの使い方を説明しました。  
(4) 彼は私に早く来ると約束しました。

考え方 ① (1) get off[on] ~ (～から降りる[～に乗る])は電車やバスに使い、ふつうの乗用車にはget out of[into/in] ~を使う。  
(2) want ... to ~の構文の...にsomeoneを使ったもの。  
(3) how to ~で「～のしかた、どのように～するか」。  
(4) come earlyするのは文の主語 He

であることを訳文で確認しておこう。

**3** 答 (1) told, to (2) asked, to  
(3) to be

考え方 ① (1) 「父は私に『車を洗いなさい』と言いました」→「父は私に車を洗うように言いました」  
(2) 「ケートは私に『ドアを開けてください』と言いました」→「ケートは私にドアを開けるように頼みました」  
(3) 「私は息子が宇宙飛行士になることを望んでいます」→「私は息子に宇宙飛行士になってほしい」

**4** 答 (1) you know how to play chess  
(2) can't decide what to cook for  
(3) asked her to go to the  
(4) don't want you to stay

考え方 ① (1) whatが不要。(2) whyが不要。  
(3) saidが不要。(4) stayedが不要。

**5** 答 (1) I asked where to go.  
(2) Will[Can] you tell[show] me how to go[get] to the station?  
(3) Ask your sister to wash[do] the dishes.  
(4) She told Tom to study hard.

考え方 ① (1) 目的語が where to go。  
(2) me が間接目的語で、how 以下が直接目的語。  
(3) 「皿を洗う」は wash[do] the dishes。  
(4) tell の過去形は told。

セクション **4-3 不定詞③**

▶▶ ポイント確認ドリル P.57

**1** 答 (1) It (2) too (3) for  
(4) rich (5) exciting  
(6) old enough

考え方 ① (1) 形式主語の it。「英語を勉強することは大切です」  
(2) too ... to ~の文。「彼は忙しすぎて外出できません」  
(3) 不定詞の意味上の主語は for ~。「私がピアノを弾くのは簡単です」  
(4) enoughの前は原級(もとの形)。「彼はその車を買えるほどの金持ちです」

(5) exciting は主語が物のときに、excited は主語が人の場合に使うのが原則。「サッカーの試合を見るのはわくわくします」

(6) 〈形容詞(副詞)+enough to ~〉の語順。「あなたはその映画を見てもいい年ごろです」。ただし、enough が形容詞として名詞を修飾するときは〈enough + 名詞+to ~〉の語順にするのがふつう。  
[例] I have enough money to buy the car. (その車を買えるだけのお金を持っています。)

**2** 答 (1) この英語の本を読むのは難しい。  
(2) 私は今日は疲れすぎて夕食の料理ができません[夕食を料理するには疲れすぎています]。

**3** 答 (1) It was easy to answer the question.  
(2) He is old enough to work.

考え方 ① (1) 過去の文なので、be 動詞は過去形。It was のあとには形容詞がくる。  
(2) **1**の(6)の解説を参照。

P.58・59

**1** 答 (1) to (2) for (3) in  
(4) enough (5) too (6) It

考え方 ① (1) 「彼の本は難しすぎて読めません」  
(2) 「あなたに昼食を作ってあげることは私には簡単です」  
(3) 「私たちは彼女に会うためにそこへ行きます」  
(4) 「この本は買えるくらいの安さです」  
(5) 「危険すぎてそこへは行けません」  
(6) 「この本を読むのは簡単ではありません」

**2** 答 (1) イングランド[イギリス]からスコットランドへ車で行くことはできますか[可能ですか]。  
(2) この物語は長すぎて1日では読めません[1日で読むには長すぎます]。  
(3) この問題は難しすぎて私には説明できません[私が説明するには難しすぎます]。  
(4) この本は6歳の子どもが読めるほど十分やさしい[やさしいので6歳の子どもでも読めます]。

考え方 ① (3)・(4) いずれも for- が不定詞の前に置かれて、不定詞の意味上の主語になっている。

**3** 答 (1) for, to (2) old enough  
(3) isn't, to

考え方 ① (1) too ... to ~や enough to ~の文では、不定詞 to のあとにくる動詞の目的語が、文の主語と同じ場合は it などの目的語はつけないのがふつう。この文では carry it としないということ。**2**の(2)~(4)の read, explain のあとに目的語が省かれていることに注意。

**4** 答 (1) It, to (2) enough to  
(3) too, to (4) time (5) enough

考え方 ① 書きかえた文の意味は次の通り。  
(1) 「正しい英語を話すのは簡単ではありません」  
(2) 「彼は何でも買えるほどの金持ちです」  
(3) 「そのかばんは重すぎて私には動かせません」  
(4) 「私たちは旅行をする時間がありません」←「私たちは忙しすぎて旅行に行けません」  
(5) 「私はそれを知っているくらい十分な年齢です」←「私は子どもではないのでそれくらい知っています」

**5** 答 (1) is natural for a baby to cry  
(2) kind enough to buy a ticket

考え方 ① (1) for a baby が意味上の主語。  
(2) ... enough to ~はこの文のように「...にも~してくれる」の訳文があてはまるものがある。

**6** 答 (1) It was impossible[It was not possible / It wasn't possible] for me to solve the problem[question].  
(2) This book is too difficult[hard] for me to read.

考え方 ① (1) not possible を1語で表すと impossible になる。  
(2) hard は形容詞で「難しい」(= difficult)の意味もある。

## ▶▶ ポイント確認ドリル

P.61

- 1 答 (1) sing (2) let (3) to stay  
(4) come (5) to finish

考え方① (1) hear が知覚動詞。「私は彼女がコンサートで歌うのを聞きました」  
(2) let が使役動詞。「母は昨夜私を外出させてくれませんでした」  
(3) <want ... to ~> 「…に～してほしい」の文。使役動詞や知覚動詞の文ではない。「私は今日あなたにここにいてほしくありません」  
(4) saw (see の過去形) が知覚動詞。「私は電車が駅に入るのを見ました」  
(5) <have to ~> 「～しなければならない」の過去の文。使役動詞や知覚動詞の文ではない。「私たちは昨夜宿題を終えなければなりませんでした」

- 2 答 (1) us walk (2) me clean

考え方① (1) 「その男は私たちを雨の中を歩かせました」の意味の文にする。  
(2) 「私の母は、私に部屋のそうじをさせました」の意味の文にする。

- 3 答 (1) I had him help me with my homework.  
(2) I saw Ken go into the library.

考え方① (1) <have + 目的語 (him) + 動詞の原形 (help)> 「…に～してもらう」の文。  
(2) <see + 目的語 (Ken) + 動詞の原形 (go)> 「…が～するのを見る」の文。

P.62・63

- 1 答 (1) (その)先生は(その)生徒たちを立たせました。  
(2) 彼女はあなたにそれをさせないでしょう [することを許さないでしょう]。  
(3) 明日彼をここに来させましょうか [来てもらいましょうか]。  
(4) 私がそのいすを教室に運ぶのを手伝ってください。

考え方① (1) stand up は「立ち上がる」の意味。  
(2) let の過去形は同じ形の let であることも覚えておこう。

(3) 使役動詞の have が「～させる」か「～してもらう」かのどちらの意味になるかは文脈による。  
(4) carry ... to ~ で「…を～に運ぶ」。

- 2 答 (1) leave (2) play  
(3) shake (4) come

考え方① それぞれ次の意味になる。  
(1) 「あなたは彼女が家を出るのを見ましたか」  
(2) 「私は娘がコンサートでバイオリンを弾くのを見ました」  
(3) 「今しがた私たちは家が揺れるのを感じました」  
(4) 「あなたはだれかが中に入って来るのに気づきましたか」

- 3 答 (1) listened, talk  
(2) made, wait  
(3) help, do

考え方① (1) listen to を1つの知覚動詞だと考える。  
(3) do one's homework で「宿題をする」。

- 4 答 (1) made, think  
(2) let, go (3) to enter

考え方① (1) 書きかえた文は「何があなたをそう考えさせたのですか」という意味になる。  
(2) allow は目的語のあとに to 不定詞を伴うが、let は動詞の原形を伴う。  
(3) 受動態にすると動詞の原形は to 不定詞になる。

- 5 答 (1) help the old woman walk across the  
(2) let me know your phone  
(3) felt something touch my foot

考え方① (1) help と動詞の walk があることから考える。  
(2) Let me know ~ . 「私に～を教えてください (ください)」はよく使われる表現。  
(3) この文の動詞の原形は touch。

- 6 答 (1) I heard her cry.  
(2) My mother will not[won't] let me go swimming.

考え方① (1) hear の過去形は heard。  
(2) swim の～ing 形は m を重ねて swimming。

### まとめのテスト③

P.64・65

- 1 答 1 dancing 2 to do  
3 talking 4 to go 5 saying

考え方① 1 「私たちは全員パーティーで踊って楽しめました」。enjoyの目的語は動名詞。  
2 「私は次に何をしたらいいかわかりませんでした」。〈疑問詞+to〜〉の形。  
3 「母と話している少年はフレッドです」。直前の名詞を修飾する現在分詞。  
4 「あなたはなぜそのパーティーに行くかと決めたのですか」。decideの目的語は不定詞。  
5 「彼女はさようならを言わずに出て行きました」。前置詞の目的語になる動名詞。不定詞は前置詞の目的語になれない。

- 2 答 1 私は今夜そのパーティーに行きたくありません。  
2 私は今夜あなたにそのパーティーに行つてほしくありません。

考え方① 1 不定詞 to go ... の意味上の主語は、文の主語と同じI。  
2 不定詞 to go ... の意味上の主語は、直前のyou。

- 3 答 1 made, in 2 too, to  
3 reading, by 4 to, hear  
5 in, making

考え方① 1 直前の名詞を修飾する過去分詞。  
2 too ... to〜の文。  
3 finishの目的語は動名詞。  
4 原因を表す副詞的用法の不定詞。  
5 前置詞の目的語になる動名詞。

- 4 答 1 taken by 2 asked, to

考え方① 1 「父がこの写真を撮りました」→「これは父によって撮られた写真です」  
2 「健は私に『窓を閉めてくれませんか』と言いました」→「健は私に窓を閉めるように頼みました」。依頼の文になるので、動詞はasked。

- 5 答 1 We stayed at the hotel built in 1900.  
2 It is [It's] impossible [It is not possible / It's not possible / It isn't possible] for

me to solve this difficult problem.

考え方① 1 built in 1900がhotelを修飾。  
2 形式主語のItで始める。不定詞の意味上の主語for meはto solveの前に。

- 6 答 1 What is the language spoken in New Zealand?

2 I have no money to buy the dictionary.

考え方① 1 speakingが不要。  
2 forが不要。to buy ... はmoneyを修飾する形容詞的用法の不定詞。

- 7 答 1 Are you going to buy the used car? — Yes, I am.

2 Will you tell me when to start [leave]?

考え方① 1 「中古車」はused carで、過去分詞が名詞の前にくる。  
2 Can you tell me ...? でもよい。

### まとめのテスト④

P.66・67

- 1 答 1 to eat 2 written  
3 playing 4 to say 5 boiled

考え方① 1 「私に何か食べるものをください」。形容詞的用法の不定詞。  
2 「彼はフランス語で書かれた手紙を受け取りました」。後置の過去分詞。  
3 「私は向こうでテニスをしている少女を知りません」。後置の現在分詞。  
4 「彼女は私にその件については何も言わないように頼みました」。ask ... to〜の構文。  
5 「彼らは今日朝食にゆで卵を食べました」。boiled eggで「ゆで卵」の意味で、boiledを名詞の前に置いて使う。

- 2 答 1 彼はその景色の写真を撮るために立ちどまりました。

2 彼はその景色の写真を撮るのをやめました。

考え方① 1 to take ... は目的を表す副詞的用法。  
2 taking ... は動詞stoppedの目的語になる動名詞。

- 3 答 1 what, to 2 were, washed  
3 running, with 4 where, to  
5 It, to



- 考え方** ① 1 〈疑問詞+to ~〉の形。「何を」とあるので疑問詞は what。  
 2 dishes と複数なので were。「洗い終わった」→「洗われた」と考える。  
 3 後置の現在分詞を使う。  
 4 「どこで」とあるので疑問詞は where。  
 5 形式主語になることができるのは it。

**4** **答** 1 fond, listening  
 2 how to

- 考え方** ① 1 「ヘレンはクラシック音楽を聞くのが好きです」。be fond of ~ing で「～することが好き」の意。  
 2 「駅へ行く道を知っていますか」→「どのようにして駅に行けばいいか知っていますか」

**5** **答** 1 Who is that man singing by the door?  
 2 It is not [It isn't / It's not] easy to speak good English.

- 考え方** ① 1 「ドアのそばで歌っているあの男の人はだれですか」  
 2 「正しい英語を話すのは簡単ではありません」

**6** **答** 1 She was kind enough to help me.  
 2 I don't know the girl playing the piano now.

- 考え方** ① 1 too が不要。 2 played が不要。

**7** **答** 1 He stopped walking, and began [started] to look at the map.  
 2 I do not [don't] want you to be [become] a doctor.

- 考え方** ① 1 to look の代わりに looking と動名詞にしてもよい。He stopped walking to look at the map. という英文にしてもよい。ただし、この英文では to look の代わりに looking は使えない。  
 2 I want ... to ~ の否定文になる。

セクション **5-1** 接続詞①

▶▶▶ ポイント確認ドリル P.69

**1** **答** (1) but (2) and (3) and  
 (4) and (5) but

- 考え方** ① (1) 「私はおじを訪ねましたが、おじは

- 家にいませんでした」  
 (2) 「私たちは先月大阪、京都、そして奈良を訪れました」  
 (3) 「急ぎなさい、そうすれば電車に間に合いますよ」  
 (4) 「私は家に2匹犬を飼っています…白い犬と黒い犬です」  
 (5) 「私は駅へ急いで行きましたが、電車に乗れませんでした」

**2** **答** (1) or (2) so (3) or  
 (4) or (5) so

- 考え方** ① (1) 「もう起きなさい、さもないと学校に遅れますよ」  
 (2) 「絵美はかぜをひいています。それで今日は学校に行けません」  
 (3) 「私はその本を4回か5回読みました」  
 (4) 「私が電話しましょうか、それともあなたが私に電話していただけますか」  
 (5) 「雨が降っていました。それで私は散歩に出かけませんでした」

**3** **答** (1) I play both baseball and soccer.  
 (2) He is not a teacher but a student.

- 考え方** ① (1) 「～も…も両方とも」は both ~ and …。  
 (2) 「～ではなく…」は not ~ but …。

P.70・71

**1** **答** (1) so (2) but (3) or  
 (4) and

- 考え方** ① (1) 「だから、それで」は so。  
 (2) 「でも、しかし」は but。  
 (3) 命令文のあとの or は「さもないと」。  
 (4) 時間的な順序を表す and。

**2** **答** (1) シェイクスピアは音楽家ではなく、作家でした。  
 (2) 一生けんめい勉強なさい、そうすればあなたは試験に合格するでしょう。  
 (3) 私はそのお金でCDかDVDのどちらかを買うつもりです。  
 (4) 彼女は(中)に入って来てコート[上着]を脱ぎました。

- 考え方** ① (1) not ~ but ... で「～ではなく…」。  
 (2) 命令文のあとの and は「そうすれば」。  
 (3) either ~ or ... で「～か…かどちらか」。

**3** **答** (1) Both, and (2) only, but

(3) and (4) and [to]

**考え方** ① (1) 「～も…も両方とも」は both ~ and ...。これが主語のときは複数として扱う。  
 (2) 「～だけではなく…も(また)」は not only ~ but also ...。also は省略されることもある。  
 (3) 「ますます～, さらに～」は <比較級 + and + 比較級>。  
 (4) come[go] and ~ で「～しに来る[行く]」。and の代わりに to も使われる。口語では and や to も省かれて Come see me again tomorrow. のようになることもある。

**4** ② (1) Both, and (2) or

**考え方** ① (1) トムもジムも日本語を話せることを both ~ and ... で表す。  
 (2) 命令文のあとの or は「さもないと」。

**5** ② (1) It was raining, so I didn't go out.  
 (2) Tom speaks not only French but also Spanish [not only Spanish but also French].

**考え方** ① (1) 「雨が降っていたので出かけなかった」→「雨が降っていた, だから 出かけなかった」。  
 (2) not only A but (also) B が主語に使われるときの動詞の形は B に合わせることも覚えておこう。Not only you but also I was wrong. (あなただけでなく私もまちがっていました)

**6** ② (1) not a nurse but a  
 (2) are there between Tokyo and

**考え方** ① (1) 「彼女は看護師ではなくて医師です」  
 (2) 「東京と上野の間には駅がいくつありますか」。between ~ and ... の形。

**7** ② (1) I want to visit either Kyoto or Nara.  
 (2) I want to visit both Kyoto and Nara.

**考え方** ① (1)・(2) either ~ or ... は2つの中から1つ, both ~ and ... は2つのどちらも, ということを表す。

セクション **5-2** 接続詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.73

**1** ② (1) when (2) that (3) that  
 (4) when (5) that

**考え方** ① (1) 「彼女がやって来たとき私は手紙を書いていた」  
 (2) 「彼女はあなたがそんなにリングが好きだとは知りません」  
 (3) 「お母さまが早くよくなればいいですね」  
 (4) 「あなたは子どものときどこに住んでいましたか」  
 (5) 「私を愛していると言ってください」

**2** ② (1) because (2) if  
 (3) because (4) if (5) because

**考え方** ① (1) 「することがいっぱいあったので、私はそこへ行きませんでした」  
 (2) 「助けが必要になったらいつでも私に電話しなさい」  
 (3) 「彼女は重病だったのでベッドで寝ていなければなりませんでした」  
 (4) 「もし明日雨が降ったら私は家にいます」  
 (5) 「私は疲れていたので早く寝ました」

**3** ② (1) Call me as soon as you get home.  
 (2) It's so hot that I won't go out.

**考え方** ① (1) 「～するとすぐに」は as soon as ~。  
 (2) 「とても～なので—は…しない」は so ~ that — won't ...。

P.74・75

**1** ② (1) because (2) since  
 (3) that (4) if

**考え方** ① (1) 「彼は電車に乗り遅れたので遅刻しました」  
 (2) 「この町に引っ越して以来彼女に会っていません」 since は前置詞以外に接続詞としても使われる。  
 (3) 「彼が正直な少年であるということはだれでも知っています」  
 (4) 「彼女にあやまればあなたを許してくれるでしょう」

- 2** **答** (1) とても暖かかったけれど、彼女はコート[上着]を脱ぎませんでした。  
 (2) 駅に着いたらすぐに切符を買いなさい。  
 (3) 雨が降り始めたので、私たちは野球をするのをやめました。  
 (4) 待っている間ここにおすわりください。

**考え方** ① (1) though は「～だけれども」の意味。  
 (2) as soon as ～で「～するとすぐに」。  
 (3) この文の as は「～なので」の意味。  
 (4) when は「～するとき」の意味だが、while は「～する間」の意味で、ある程度の幅のある時間を表すのに使う。

- 3** **答** (1) until [till] (2) when  
 (3) before (4) after

**考え方** ① (1) 「～まで(ずっと)」は until か till で、継続を表す。  
 (3) 「暗くならないうちに」→「暗くなる前に」と考えて before を使う。  
 (4) 「帰宅してから」→「帰宅したあとで」と考えて after を使う。

- 4** **答** (1) so, that (2) Though [Although]

**考え方** ① (1) この書きかえは重要。He was kind enough to show me the way. → He was so kind that he showed me the way. (彼は親切にも私に道を教えてくれた)も覚えておこう。

- 5** **答** (1) I was so busy that I couldn't [could not] come.  
 (2) As soon as I reached the hotel, I called him. [I called him as soon as I reached the hotel.]

**考え方** ① (1) この書きかえも重要なので何回も練習しておこう。  
 (2) as soon as ～の位置は前半でも後半でもよい。

- 6** **答** (1) ran as fast as I  
 (2) is so small that I can't see it

**考え方** ① (1) 「私はできるだけ速く走りました」= I ran as fast as possible.  
 (2) 「その星はとても小さくて私には見えません」

- 7** **答** (1) I don't [do not] think (that) he will [he'll] come here tomorrow.

- (2) It was so cold yesterday that I couldn't [could not] go out.

**考え方** ① (1) that は省略してもよい。「来ないと思います」という日本語でも、同じ英文になる。think のほうを否定する。  
 (2) so ～ that ... の文でも that が省略されることもあるが、ここでは省略されない形で覚えておこう。yesterday は文末に置いてよい。

## セクション 6 -1 関係代名詞①

### ポイント確認ドリル

P.77

- 1** **答** (1) who (2) which (3) which  
 (4) who

**考え方** ① 先行詞が「人」なら who, 「物」・「動物」なら which を使う。  
 (1) 「私たちはここに住んでいる男の人を知りません」  
 (2) 「これは公園へ行くバスです」  
 (3) 「マイクは私のよりもいい自転車を持っています」  
 (4) 「向こうで走っている少年はトムです」

- 2** **答** (1) イ (2) イ (3) ウ

**考え方** ① (1) who painted this picture が主語の The girl を修飾している。  
 (2) 先行詞は a dog で「動物」。ペットなどが家族のように扱われている場合は、親しみをこめて、関係代名詞に who を使うこともある。  
 (3) 先行詞は the man。

- 3** **答** (1) I know a girl who speaks Chinese.  
 (2) This is the train which goes to Aomori.

**考え方** ① (1) I know a girl. + She speaks Chinese.  
 (2) This is the train. + It goes to Aomori.

P.78・79

- 1** **答** (1) イ (2) ウ

**考え方** ① (1) 「となりに住んでいる少女はとてもかわいらしいです」  
 (2) 「丘の上に立っている家を見なさい」  
 ア 疑問詞(で代名詞)の who。

エ 〈疑問詞＋名詞＋to～〉に使われている which。

- 2** 答 (1) 今朝来た手紙は父からのものでした。  
(2) 門の近くに立っている少女は美しい花を持っています。  
(3) 昆虫は6本の脚を持つ小さな動物です。  
(4) 彼は、東京で撮られた写真を私たちに(何枚か)見せてくれました。

**考え方** ① (1) The letter was from my father. + It came this morning.  
(2) The girl has lovely flowers. + She is standing near the gate.  
(3) An insect is a small animal. + It has six legs.  
(4) He showed us some pictures. + They were taken in Tokyo.

- 3** 答 (1) which[that] (2) who[that]  
(3) who[that]

**考え方** ① (1) 「中国は長い歴史をもつ国です」。withには「～がある、～をもつ」の意味があることを確認。先行詞は「物」。  
(2) 「私は私を手伝ってくれる女の人の必要としています」。上の文の to help me は直前の a woman を修飾する形容詞的用法の不定詞。先行詞は「人」。  
(3) 「健と話している男の人を知っていますか」。上の文の talking ... は the man を修飾している現在分詞。先行詞は「人」。

- 4** 答 (1) I have some friends who live in Hokkaido.  
(2) Look at the dog which is running with Ken.  
(3) I have a car that is made in Germany.  
(4) The school which stands near the river is ours.

**考え方** ① (1) 先行詞が複数であることにも注意。  
(2) 先行詞は「動物」。  
(3) 先行詞は「物」。  
(4) 関係代名詞の節が文の主語を修飾。

- 5** 答 (1) the boy who is playing the guitar  
(2) a watch which is better than mine

**考え方** ① (1) the boy が先行詞で、who が関係代名詞。

(2) a watch が先行詞で、which が関係代名詞。

- 6** 答 (1) I know the boy who[that] has been to London many times.  
(2) I have a dog which[that] swims very well.

**考え方** ① (1) 先行詞が3人称・単数なので has を使うことに注意。  
(2) この文の先行詞も3人称・単数。

## セクション 6-2 関係代名詞 ②

### ポイント確認ドリル

P.81

- 1** 答 (1) A (2) B (3) B (4) B  
(5) A (6) B

**考え方** ① 主格のあとには動詞が続き、目的格のあとには〈主語＋動詞〉が続く。  
(1) 「そこに立っている建物は私たちの学校です」  
(2) 「あれはあなたが昨日買ったカメラですか」  
(3) 「ポールが書いた曲は本当に美しい」  
(4) 「パリはだれもが訪れたいと思う都市です」  
(5) 「昨日ここに来た男の人は私のおじです」  
(6) 「あなたが言うことは何でもします」

- 2** 答 (1) イ (2) イ

**考え方** ① 主格・目的格に関係なく、関係代名詞は先行詞のあとに置く。  
(1) 先行詞は the picture。  
(2) 先行詞は the only book。

- 3** 答 (1) This is the book which I read yesterday.  
(2) Is that the man you saw in Paris?

**考え方** ① (1) This is the book. + I read it yesterday.  
(2) Is that the man? + You saw him in Paris. 関係代名詞が省略された形。

P.82・83

- 1** 答 (1) ○ (2) × (3) ○ (4) ×

**考え方** ① (1) 「これは今朝受け取った手紙です」  
(2) 「これは今朝来た手紙です」  
(3) 「私がそこで会った若い男の人が私にその知らせを教えてくださいました」

(4) 「私は動物が好きでない人をたくさん知っています」

- 2** 答 (1) 私はトムから借りた本をなくしてしまいました。  
(2) それがあなたがした仕事のすべてですか [あなたがした仕事はそれすべてですか]。  
(3) その図書館に私が希望していた [私がほしかった] 本はありませんでした。  
(4) 彼らはあなたが学校で教えている生徒たちですか。

**考え方** ① それぞれ (省略されている) 関係代名詞の先行詞は次のようになる。  
(1) the book. (2) all the work.  
(3) the book. (4) the students.

- 3** 答 (1) which [that], took (2) gave  
(3) he wrote (4) you know

**考え方** ① (1) 「あの写真は<sup>かき</sup>大樹によって撮られました」→「あれは大樹が撮った写真です」  
(2) 「私は、久美によって私に与えられた時計をなくしてしまいました」→「私は久美が私にくれた時計をなくしてしまいました」  
(3) 「これは昨日彼によって書かれた手紙です」→「これは彼が昨日書いた手紙です」  
(4) 「彼女についてあなたが知っているのはそれだけですか」→「それがあなたが彼女について知っているすべてですか」

- 4** 答 (1) Have you found the key which you lost yesterday?  
(2) I want to see the pictures that your father took.  
(3) The book you gave to me is very interesting.  
(4) The boy you see in the park is not my brother.

**考え方** ① (1) 「昨日なくした<sup>かぎ</sup>鍵を見つきましたか」  
(2) 「私はあなたのお父さんが撮った写真を見たい」  
(3) 「あなたが私にくれた本はとてもおもしろい」  
(4) 「公園に見えている男の子は私の弟 [兄] ではありません」

- 5** 答 (1) the books which he wrote last

year

(2) me the book you bought yesterday

**考え方** ① (1) which の先行詞は the books。  
(2) 関係代名詞が省略されている。省略された関係代名詞の先行詞は the book。

- 6** 答 (1) Is this the [a] picture (which / that) you took in Kyoto?  
(2) He is not [He isn't / He's not] the man [person] (that) I have [I've] wanted to see [meet] for a long time.

**考え方** ① どの関係代名詞も目的格なので省略可。  
(1) a を使うと何枚かあるうちの1枚ということを表す。  
(2) 後半は, I have long wanted to see と副詞の long を使ってもよい。

## セクション 6-3 関係代名詞③ (まとめ)

### ポイント確認ドリル

P.85

- 1** 答 (1) ウ (2) イ (3) ウ

**考え方** ① (1) ア・イはともに疑問 (代名) 詞。ウは主格の関係代名詞。「今ギターを弾いている少年は私の兄 [弟] です」  
(2) アは疑問 (代名) 詞。ウは (疑問詞 (+ 名詞) + to ~) の一部。イは目的格の関係代名詞。「これは4匹の中で私がいちばん好きなネコです」  
(3) アは代名詞。イは既出の名詞のくり返しを避けるための that。that = the population。ウは目的格の関係代名詞。「これはメアリーが私に渡した手紙です」

- 2** 答 (1) This is the man who wrote the book.  
(2) This is the watch which I bought yesterday.  
(3) Is this the magazine that you read?

**考え方** ① (1) who は the man を先行詞とする主格の関係代名詞。  
(2) which は the watch を先行詞とする目的格の関係代名詞。  
(3) that は the magazine を先行詞とする目的格の関係代名詞。

P.86・87

- 1** 答 (1) ウ (2) イ (3) ア (4) イ

**考え方** ① (1) 「こちらはロンドンへ2回行ったことがある少年です」  
 (2) 「これはあなたが家で飼っているネコですか」  
 (3) 「これは上手に話せる鳥です」  
 (4) 「これは、私がその女性について知っているすべてです」。thatの先行詞はallになる。

**2** **答** (1) 何かわからないことがありますか。  
 (2) こちらは私がこれまで見た中でいちばんかわいい赤ちゃんです。  
 (3) ゴルフとテニスは老いてまで楽しめるスポーツです。  
 (4) 彼を知っている人はだれも彼を信用し[信じ]ないでしょう。

**考え方** ① (2) 先行詞に最上級がついているのでthatが使われている。このthatのあとに使われるeverは、肯定文でも「これまで、今までに」の意味になる。  
 (3) 目的格の関係代名詞が省略されている。  
 (4) thatは主格の関係代名詞。Nobodyという代名詞が先行詞になっている。

**3** **答** (1) library (2) dictionary  
 (3) doctor (4) money

**考え方** ① (1) 「本が中にたくさんある建物で、本を読んだり借りたりすることができる」  
 (2) 「単語の意味がわからないときに使う本」  
 (3) 「病院で看護師とともに病人の面倒をみる人」  
 (4) 「店やレストランなどで支払うのに使うもの」

**4** **答** (1) I like girls who are kind to other people.  
 (2) This is a book which was written by Mr. White.  
 (3) The song which he is singing now is popular in Japan.  
 (4) Where is the shop that sells picture postcards?

**考え方** ① (1) whoはgirlsを先行詞とする主格の関係代名詞。  
 (2) whichはa bookを先行詞とする主格の関係代名詞。

(3) whichはThe songを先行詞とする目的格の関係代名詞。  
 (4) thatはthe shopを先行詞とする主格の関係代名詞。

**5** **答** (1) the boy that I met at the  
 (2) is the man you met yesterday

**考え方** ① (1) thatはthe boyを先行詞とする目的格の関係代名詞。  
 (2) manのあとに目的格の関係代名詞thatが省略されている。疑問詞Whoで始まる疑問文の関係代名詞にはthatを使う。

**6** **答** (1) The computer (which / that) I am [I'm] using now is Tom's.  
 (2) Tell me anything (that) you know about him.

**考え方** ① (1) nowはamのあとに置いてよい。  
 (2) 「何でも」を「すべて」と考えてanythingの代わりにallでもよい。どちらが先行詞でも関係代名詞にはふつうthatを使う。(1)・(2)ともに目的格になるので省略してよい。

## まとめのテスト⑤ P.88・89

**1** **答** 1 イ 2 ア 3 ア  
 4 イ 5 ア

**考え方** ① 1 「速く走ったけれども、その電車に間に合いませんでした」  
 2 「私が帰宅したとき、彼は熱心に勉強していました」  
 3 「犬と散歩している少年を見なさい」先行詞が「人」で、主格なのでwho。  
 4 「これは私が今まで読んだ中で最もおもしろい本です」。目的格のthat。先行詞に最上級があることにも注意。  
 5 「スミスさんには野球の選手をしている息子さんがいます」。先行詞が「人」なので、whoかthatのどちらか。

**2** **答** 1 今日ではできるだけ早く家に帰りなさい[帰宅しなさい]。  
 2 あちらは私たちが昨日駅で見かけた[会った]男の人です。

**考え方** ① 1 as ~ as possibleで「できるだけ~」。  
 2 manのあとに目的格の関係代名詞が

省略されている。

- 3 答 1 before 2 while  
3 As, as 4 after 5 not, but

- 考え方 ① 1 「～する前」= before。  
2 「～する間」= while。  
3 「～するとすぐに」= as soon as ~。  
4 「～したあとで」= after。  
5 「～ではなく…」= not ~ but …。

- 4 答 1 If 2 which[that] was  
3 too, to 4 but, was 5 or

- 考え方 ① 1 「急ぎなさい、そうすれば始発電車に間に合いますよ」→「もし急げば、始発電車に間に合いますよ」  
2 「これはトムが昨日書いた手紙です」→「これは昨日トムによって書かれた手紙です」  
3 「彼はとても疲れていたのひと言も話せませんでした」。so ~ that — can't ... を too ~ to ... の構文にかえる。  
4 「あなたも私も2人ともそのとき幸せでした」→「あなただけでなく私もそのとき幸せでした」。not only ~ but also ... の形にする。not only A but also B が主語に使われるとき、動詞の形は B に合わせることに注意する。  
5 「もう起きなければ、学校に遅れますよ」→「もう起きなさい、さもないと学校に遅れますよ」

- 5 答 1 He ran so fast that I couldn't follow him.  
2 This is the book that I am going to read next week.

- 考え方 ① 1 as が不要。 2 who が不要。

- 6 答 1 I think (that) he will [he'll] come to the party tomorrow.  
2 Do you know the man who [that] is talking with [to] my mother?

- 考え方 ① 1 名詞節を導く接続詞 that は省略可。  
2 先行詞が「人」で主格の関係代名詞。who [that] is をとると分詞が名詞を修飾する形になる。

まとめのテスト⑥ P.90・91

- 7 答 1 イ 2 ア 3 ア  
4 イ 5 ア

- 考え方 ① 1 「これは父によって与えられた辞書です」。先行詞が「物」で主格の関係代名詞。  
2 「あなたは大学ではフランス語かドイツ語かのどちらかを学ばなければいけません」  
3 「私には名古屋に住んでいるおじがいます」。先行詞が「人」で主格の関係代名詞。  
4 「もし明日雨が降れば、私は出かけません」  
5 「私は彼女が中国の出身だということを知りませんでした」

- 2 答 1 あなたがなくした(腕)時計はどちらですか。  
2 彼の庭と私たちの庭の間には高い低い[垣根]があります。

- 考え方 ① 1 that は the watch を先行詞とする目的格の関係代名詞。この文のように、疑問詞 Which で始まる文には主格・目的格に関係なく関係代名詞には that を使うのがふつう。  
2 between ~ and ... で「～と…の間」の意味。

- 3 答 1 ウ 2 エ 3 イ  
4 ウ 5 オ

- 考え方 ① 主格の関係代名詞のあとには動詞が続く、目的格の関係代名詞のあとには(主語+動詞)が続く。

- 4 答 1 so, that 2 who [that] has

- 考え方 ① 1 「この本は彼が読めるくらい簡単です」→「この本は簡単なので彼は読むことができます」  
2 「青い目をした女の子をごらん下さい」。with (～を持っている) の内容を主格の関係代名詞と動詞 have で表す。

- 5 答 1 There are few people who [that] don't know this song.

- 2 He has written a book which [that] is very popular with us.

- 考え方 ① 1 「この歌を知らない人はほとんどい

ません」

2 「彼は、私たちにとても人気の本を書きました」

6 答 1 Please come here as soon as you can.

2 I'll tell you all I know about it.

考え方 1 can't が不要。 2 who が不要。

7 答 1 I have a friend who[that] has been to New York three times.

2 Can you speak both English and French? — Yes. I can.

考え方 1 先行詞が「人」で、主格の関係代名詞を使う。

2 「～と…の両方とも」= both ~ and ...。

## セクション 7 5 文型

### ポイント確認ドリル

P.93

1 答 (1) C (2) O (3) O  
(4) C (5) O (6) C

考え方 1 主語とイコールの関係なら補語、イコールの関係ではなく、動詞の動作の対象となるのは目的語。

- (1) 「彼は年の割に若く見えます」
- (2) 「私は昨日何もすることがありませんでした」
- (3) 「彼は私におもしろい話をしてくれました」
- (4) 「あなたの話は奇妙に聞こえます」
- (5) 「たくさんの人が毎年京都を訪れます」
- (6) 「明日は(今日よりも)ずっと寒くなるでしょう」

2 答 (1) play (2) show (3) give  
(4) buy

考え方 1 (1) 「彼らは日曜日には野球をします」  
(2) 「私に地図を見せてくれませんか」  
(3) 「あなたに私の古いコンピュータをあげましょう」  
(4) 「彼は何を私に買ってくれるつもりですか」

3 答 (1) I'll make you a doll.  
(2) We call him Ken.

考え方 1 (1) SVOO の第4文型の文。  
(2) SVOC の第5文型の文。

P.94・95

1 答 (1) ウ (2) オ (3) イ  
(4) ア (5) エ

考え方 1 (1) S=train, V=stops。ウ S=bus, V=runs。  
(2) S=He, V=became, C=member。オ S=I, V=feel, C=sleepy。  
(3) S=father, V=grows, O=roses。イ S=She, V=bought, O=hat。  
(4) S=I, V=gave, O(間)=brother, O(直)=dictionary。ア S=She, V=showed, O(間)=me, O(直)=way。  
(5) S=People, V=call, O=monster, C=Nessie。エ S=You, V=keep, O=hands, C=clean。

2 答 (1) 私はその英語の本を簡単に見つけました。  
(2) 私はその英語の本が簡単だとわかりました[その英語の本を読んではみたらやさしかった]。

考え方 1 (1) SVO の第3文型の文。  
(2) the English book=easy の関係にあることを確認しておこう。

3 答 (1) us math (2) to her  
(3) make, happy

考え方 1 (1) 「グリーン先生は私たちの数学の先生です」→「グリーン先生は私たちに数学を教えています」  
(2) 「私は彼女に日本人形をあげました」。give には to を使う。  
(3) 「彼女はその知らせを聞いて喜んでしょう」→「その知らせは彼女を喜ばせるでしょう」

4 答 (1) My father bought a bike for me.  
(2) We have much rain in June.

考え方 1 (1) buy には for を使う。  
(2) 書きかえた文の We は特定の人を指すのではなく、一般の人を指す。

5 答 (1) told them an interesting story  
(2) made him very famous  
(3) not leave the door open

考え方 1 (1) S=I, V=told, O(間)=them, O(直)=story。  
(2) 「その本のおかげで彼はとても有名



になりました」がふつうの日本語。S=book, V=made, O=him, C=famous。  
 (3) S=You, V=leave, O=door, C=open。この open は形容詞。

**6** 答 (1) He did not [didn't] lend me the DVD [the DVD to me].

(2) His story sounds true.

(3) We call the black dog Max.

**考え方** ① (1) S=He, V=lend, O(間)=me, O(直)=DVD。前置詞を使うときは to。  
 (2) S=story, V=sounds, C=true。  
 (3) S=We, V=call, O=dog, C=Max。

セクション **8-1** 間接疑問文・付加疑問文・否定疑問文①

ポイント確認ドリル P.97

**1** 答 (1) where (2) when  
 (3) how (4) why (5) who  
 (6) which

**考え方** ① 疑問詞のもとの意味を考える。

**2** 答 (1) this is (2) you are  
 (3) he wrote (4) you went

**考え方** ① <疑問詞+主語+動詞>が基本形。  
 (1) 「私はこれが何か知っています」  
 (2) 「私はあなたがだれか知っています」  
 (3) 「私は彼がいつその手紙を書いたか知っています」  
 (4) 「私はあなたが昨日どこへ行ったのか知っています」

**3** 答 (1) I don't know where she lives.  
 (2) I know who she is.

**考え方** ① (1) <疑問詞+主語+一般動詞>の形。  
 (2) <疑問詞+主語+be動詞>の形。

P.98・99

**1** 答 (1) エ (2) ウ (3) イ

**考え方** ① 疑問詞以下が動詞の目的語になるということは、疑問詞以下が名詞の働きをする文(=節→名詞節)になっている。

**2** 答 (1) 先週ここで何が起きたのかあなたは知っていますか。  
 (2) ヘレンが夏休みをどこで過ごしたかあなたは知っていますか。  
 (3) メアリーはいつもどってくるのだろう

[くるのかしら]。

(4) 私は彼が今朝なぜ怒っていたのかわかりません。

**3** 答 (1) where, lives (2) what, means  
 (3) how, is

**考え方** ① 書きかえた文の意味は次の通り。  
 (1) 「久美がどこに住んでいるか知っていますか」  
 (2) 「私はこの単語が何を意味するか[どんな意味か]知っています」  
 (3) 「あなたは彼が何歳か知っていますか」。how old をひとつの疑問詞と考えればよい。

**4** 答 (1) Do you know where he bought the book?  
 (2) I want to know how you came here.  
 (3) Can you tell me who broke the window?  
 (4) I know when he is going to leave here.

**考え方** ① (1) 「あなたは彼がどこでその本を買ったのか知っていますか」  
 (2) 「私はあなたがどうやってここに来たのか知りたい」  
 (3) 「だれが窓を割ったのか私に話してくれますか」  
 (4) 「私は彼がいつここを出発するつもりか知っています」

**5** 答 (1) don't know who went there  
 (2) know what he is going to do

**考え方** ① (1) who を主語として使う。  
 (2) What is he going to do? がもとの疑問文になる。

**6** 答 (1) Do you want to know where she lives?  
 (2) I know why Tom got up early this morning.

**考え方** ① (1) Where does she live? がもとの疑問文。  
 (2) Why did Tom get up early this morning? がもとの疑問文。

▶▶ ポイント確認ドリル P.101

- 1** ① (1) you (2) he (3) she  
(4) he (5) they

**考え方** ① (1) 「あなたは大学生ですね」。主文の主語はもともと代名詞。そのまま使う。  
(2) 「トムはいい生徒ですね」。トムは男性なので he。  
(3) 「ジェーンは今ロンドンにいますね」。ジェーンは女性なので she。  
(4) 「ホワイトさんはニューヨークの出身ですね」。Mr. は男性につくもの。  
(5) 「健とボブは同じクラスですね」。主語は複数なので they。

- 2** ① (1) Aren't (2) Didn't  
(3) Don't (4) Isn't (5) Doesn't

**考え方** ① (1) 「あなたはそれを聞いてうれしくないのですか」  
(2) 「あなたは昨日パーティーに行かなかったのですか」  
(3) 「あなた(たち)は学校でフランス語を勉強しないのですか」  
(4) 「これはあなたの新しいコンピュータではないのですか」  
(5) 「彼はすしが好きではないのですか」

- 3** ① (1) This book is interesting, isn't it?  
(2) Don't you know his name?

**考え方** ① (1) This book は it で受ける。  
(2) 否定疑問文になる。

P.102・103

- 1** ① (1) don't you (2) aren't they  
(3) didn't she (4) is he

**考え方** ① (1) 「あなたは中国語を上手に話しますね」。主文は一般動詞の現在の肯定文。  
(2) 「彼らは大阪の出身ですね」。主文は be 動詞の現在の肯定文。  
(3) 「ケートはその手紙を書いたのですね」。主文は一般動詞の過去の肯定文。Kate は女性なので she を使う。  
(4) 「ボブはそんなに親切ではないのですね」。主文は be 動詞の現在の否定文。

- 2** ① (1) Didn't (2) Wasn't

- (3) Aren't (4) Doesn't

**考え方** ① (1) go と yesterday から一般動詞の過去の否定疑問文に。  
(2) last year と動詞がないことから be 動詞の過去の否定疑問文に。  
(3) listening と now から現在進行形の否定疑問文に。進行形には be 動詞が使われているので、be 動詞の否定疑問文の作り方と同じになる。  
(4) move から一般動詞の否定疑問文に。文の内容から現在にする。

- 3** ① (1) あなたのお姉[妹]さんは泳げませんよね。—— はい、泳げません。  
(2) あなたはボブといっしょにその試合を見に行かなかったのですか。—— いいえ、行きました。  
(3) 彼がとても正直だとあなたは思わないのですか。—— いいえ、(正直だと)思います。

**考え方** ① 主文が否定の付加疑問文でも否定疑問文でも、答えの文では答える内容が肯定なら Yes を、否定の内容なら No を使う。日本語の「はい」「いいえ」とは一致しない。

- 4** ① (1) No (2) won't (3) Yes

**考え方** ① (1) 「あなたは真実を知らなかったですね」—「はい、知りませんでした」  
(2) 「二度と遅れないでしょうね」—「はい、遅れません」  
(3) 「彼女はこの市に住んでいないのですか」—「いいえ、住んでいます」

- 5** ① (1) Ms. Ito is your English teacher, isn't she?  
(2) You have been to England twice, haven't you?  
(3) Aren't you busy now?  
(4) Can't your brother play soccer?

**考え方** ① (1) 「伊藤さんはあなたの英語の先生ですね」  
(2) 「あなたは英国へ2回行ったことがあるのですね」。現在完了の付加疑問には have や has を使う。  
(3) 「あなたたちは今忙しくないのですか」という疑問文を作る。  
(4) 「あなたのお兄[弟]さんはサッカーが

できないのですか」という疑問文を作る。

- 6** ① (1) looked very sad, didn't she  
(2) Didn't you sleep well last

**考え方** ① (1) 主文に didn't を使うと、あとに続く動詞の原形がない。  
(2) ? があるので否定文ではなく、否定疑問文にする。

- 7** ① (1) You can't[cannot] play the piano, can you? — No, I can't[cannot].  
(2) Didn't you see the movie? — Yes, I did.

**考え方** ① (1) 主文が助動詞 can の否定文になるので、付加疑問は肯定の形になる。  
(2) see の代わりに watch でもよいが、映画を「見る」場合は see を使うことが多い。ただし、テレビで映画を見る場合は watch をよく使う。

### まとめのテスト⑦

P.104・105

- 1** ① 1 イ 2 ア 3 イ  
4 イ 5 ア

**考え方** ① 1 「彼は教師になっています」。become の補語になっている teacher は名詞なので、冠詞が必要。  
2 「敬子は今朝とても忙しそうでした」。look のあとの補語は形容詞。形容詞に冠詞は不要。  
3 「父は私にいいカメラを買ってくれるでしょう」。(間接)目的語になるので、代名詞は目的格にする。  
4 「春には多くの鳥が楽しげに歌います」。〈SV〉の第1文型。動詞を修飾する副詞 merrily を選ぶ。  
5 「その知らせはその少女を喜ばせました」。〈SVOC〉のCにくる語。補語には形容詞の happy。副詞の happily は補語になることはできない。

- 2** ① 1 彼らがいつどこで野球をするつもりなのか私はわかりません。  
2 この町には図書館はないのですか。——はい、1つありません。

**考え方** ① 1 when も where も両方とも they will play baseball をしたがえていることに

注意。

2 There are ~. (~がある)の文を否定疑問文にしたもの。

- 3** ① 1 エ 2 ア 3 オ  
4 ウ 5 イ

**考え方** ① 1 第1文型。「父は毎日一生けんめい働いています」。エ 「鳥の中には空を非常に高く飛べるものもいます」。  
2 第2文型。「私の趣味は切手を集めることです」。ア 「空が突然くもりました」。  
3 第3文型。「私たちは毎日水をたくさん使います」。オ 「彼女はアメリカの小説を読むのが好きです」。  
4 第4文型。「あなたにその写真〔絵〕をお見せしましょう」。ウ 「あなたの家族について何か私たちに話してくれますか」。  
5 第5文型。「彼は自分の犬をポチと名づけました」。イ 「彼はドアを開けたままにしておきました」。

- 4** ① 1 him Fred 2 I, do

**考え方** ① 1 「彼の名前はフレッドです」→「みんな〔人々〕は彼をフレッドと呼んでいます」  
2 「私は今何をすべきなのかわかりません」。〈疑問詞+to ~〉を間接疑問文で表す。

- 5** ① 1 She bought a new dictionary for her son.  
2 Tom didn't understand the words, did he?

**考え方** ① 1 「彼女は息子に新しい辞書を買ってあげました」。buy には for を使う。  
2 「トムはその単語がわからなかったのですね」。主文が否定文であることに注意。

- 6** ① 1 The bad news made her sad.  
2 Do you know how she came here?

**考え方** ① 1 became が不要。「~を…にする」の make を使う。  
2 did が不要。

- 7** ① 1 My mother will get well soon.  
2 I know when she came to Japan,

but I don't[do not] know where she lives now.

- 考え方** ① 1 soon の位置は will のあとや文頭でもよい。  
2 前半も後半も間接疑問文になる。

### まとめのテスト⑧ P.106・107

- 1 **答** 1 aren't you 2 did you  
3 can't you 4 Didn't  
5 Isn't 6 Wasn't

- 考え方** ① 1 「あなたは英語を勉強しているのですね」  
2 「あなたは昨夜テレビを見なかったのですね」  
3 「あなたはその川を泳いで渡ることができるのですね」  
4 「あなたはここにバスで来なかったのですか」—「はい、バスでは来ませんでした」  
5 「彼は大学生ではないのですか」—「いいえ、大学生です」  
6 「あなたがここに来たときに雨は降っていませんでしたか」—「いいえ、降っていました」

- 2 **答** 1 彼らは彼をテニス部の主将[キャプテン]にしました。  
2 彼女は彼に新しいスーツを作ってあげました。

- 考え方** ① 1 SVOC の文型で C(補語)に名詞がきている。  
2 SVOO の文型。

- 3 **答** 1 イ 2 ア 3 ア

- 考え方** ① 1・3 間接疑問文の〈疑問詞＋主語＋動詞〉の語順になる。  
2 同じ間接疑問文でも、この who はもともと主語なので語順に変化はない。

- 4 **答** 1 to Jane 2 she came

- 考え方** ① 1 give には to を使う。  
2 間接疑問文に。「彼女がいつどこに来たのか私は知りません」。

- 5 **答** 1 I found the book interesting.  
2 You bought the dictionary yesterday, didn't you?

- 考え方** ① 1 interesting が補語になる。  
2 主文が一般動詞の過去の肯定文であることに注意。

- 6 **答** 1 You must keep your room clean.  
2 Doesn't your father speak French?

- 考え方** ① 1 leave が不要。 2 don't が不要。

- 7 **答** 1 He named his daughter Laura.  
2 Kate can speak Japanese, can't she? — Yes, she can.

- 考え方** ① 1 SVOC の文型。  
2 助動詞 can を使った付加疑問文。

### セクション 9-1 いろいろな表現①

#### ▶▶ ポイント確認ドリル P.109

- 1 **答** (1) be (2) should not  
(3) would (4) to see  
(5) would like (6) was

- 考え方** ① (1) should にかぎらず、助動詞のあとには動詞の原形が続く。  
(2) should の否定形は should not。  
(3) would like to ~ は want to ~ の控え目な表現。  
(4) like は不定詞・動名詞どちらも目的語にとるが、この表現では不定詞だけ。  
(5) would like のあとに名詞が続く形。  
(6) 時制の一致で was になる。

- 2 **答** (1) I would like to know her address.  
(2) I thought that he was in Tokyo.

- 考え方** ① (1) to のあとには動詞の原形が続く。  
(2) I think that he is in Tokyo. を過去の文にして、時制の一致をさせたもの。

#### P.110・111

- 1 **答** (1) would, to (2) should be  
(3) couldn't (4) Would you

- 考え方** ① (1) like の代わりに love を使うと意味が強調される。  
(2) be 動詞の原形は be。  
(3) can't の過去形は couldn't。  
(4) Will you ~? をさらにていねいにしたもの。

- 2 **答** (1) あなたはそんなに(たくさん)ケーキを食べるべきではありません。

- (2) (私は)支配人にお会いしたいのですが。  
 (3) 彼はできるだけ速く走りました。  
 (4) 私は彼は入院しているのだと思いました。

**考え方** ① (1) should の否定文になる。  
 (2) イギリス英語では would の代わりに should を使うこともある。  
 (3) He runs as fast as he can. を過去の文にしたもの。  
 (4) I think that he is in the hospital. を過去の文にしたもの。

**3** **答** (1) like (2) should (3) was

**考え方** ① (1) 「何か飲むものがほしいですか」—「ああ、冷たい飲みものがほしいですね。」 would like のあとに名詞が続く形。  
 (2) 「彼女のために私は何をすべきでしょうか」—「彼女には何も言うべきではありません[何も言わないほうがいいでしょう]」  
 (3) 「彼女が先週アメリカにいたって知ってましたか」—「いいえ。日本にいますと思ってました」

**4** **答** (1) I thought that he was a careful driver.  
 (2) He said that he would come to the party.  
 (3) He said the game began at nine o'clock.  
 (4) I heard that he could run as fast as an athlete.

**考え方** ① 時制の一致の問題。will や can などの助動詞がある場合は助動詞を過去形に。  
 (1) 「彼は慎重な運転手だと思いました」  
 (2) 「彼はパーティーに来ると言っていました」  
 (3) 「彼は試合は9時に始まると言いました」  
 (4) 「彼は陸上選手と同じくらい速く走れるということでした」

**5** **答** (1) would like to have a cup of  
 (2) know that he was in London

**考え方** ① (1) 「コーヒーを1杯いただきたいのですが」  
 (2) 「彼がロンドンにいるとは知りませ

んでした」

**6** **答** (1) You should visit the teacher tomorrow morning.  
 (2) Did you think (that) he was right?

**考え方** ① (1) visit は should のあとに置く。  
 (2) 時制の一致を忘れないように。

## セクション 9-2 いろいろな表現②

▶▶ ポイント確認ドリル P.113

**1** **答** (1) have (2) don't have to  
 (3) able (4) nothing (5) no  
 (6) never

**考え方** ① (1) to があることに注意。  
 (2) must not は「～してはいけない」。  
 (3) is や to があることに注意。  
 (4) nobody は人に使う。  
 (5) <no+名詞>の形になる。  
 (6) not より強い否定には never を使う。

**2** **答** (1) He is not always busy.  
 (2) I have nothing to say.

**考え方** ① (1) not が always よりも先。  
 (2) nothing を have の目的語にする。

P.114・115

**1** **答** (1) able to (2) going to  
 (3) Not every

**考え方** ① (1) be able to の文に。  
 (2) be going to の文に。  
 (3) 部分否定の文。bird が単数なので all ではなく every を使う。

**2** **答** (1) 私は毎日2〜3マイルを歩いたものでした。  
 (2) その電車[列車]に乗りたければ(あなたは)急いだほうがいい。  
 (3) ここでは雨はたくさん降りますが、雪はほとんど降りません。  
 (4) 今年は試験に落ちた生徒はほとんどいませんでした。  
 (5) 馬はすべて動物ですが、動物がすべて馬であるというわけではありません。

**考え方** ① (1) used to ~で「よく～したものだ」。  
 (2) had better ~で「～したほうがいい」。  
 (3)・(4) little, few に a がついていないと「ほとんど～ない」。

(5) not all ~で「すべてが~というわけではない」。

**3** 答 (1) take (2) calling  
(3) wrong

考え方 (1) 「こちらの安いほうはどうですか」—  
「ああ、いいね! それをいただきます」  
(2) 「どちらさまですか」—「ぼくですよ  
…あなたの息子!」  
(3) 「そちらは123-9876ですか」—「いい  
え。番号をおまちがいです」

**4** 答 (1) nothing (2) wasn't

考え方 (1) 「そのころ私は日本について何も知  
りませんでした」  
(2) 「彼はその川を泳いで渡ることがで  
きませんでした」。was not の短縮形を  
使って否定文にする。

**5** 答 (1) He had to come home early.  
(2) He will be able to swim next year.

考え方 (1) have[has] to を過去形にする。「彼  
は早く帰宅しなければなりませんでした」  
(2) be able to を will のあとに続ける。  
「彼は来年泳げるようになるでしょう」

**6** 答 (1) will have to wait for a few hours  
(2) He had few friends and little

考え方 (1) will のあとに have to を続ける。  
(2) few は数えられる名詞 friends の前  
に、little は数えられない名詞 money の  
前に使う。

**7** 答 (1) You don't[do not] have to buy  
the dictionary.  
(2) My mother was not(wasn't) very  
[so] happy.

考え方 (1) have の代わりに need でもよい。  
(2) not very で「あまり~ない」の意味  
で、部分否定のひとつと考える。

## セクション 10-1 仮定法過去①

▶▶ ポイント確認ドリル P.117

**1** 答 (1) were (2) rains (3) were  
(4) knew (5) could

考え方 (1) 「私があなたなら、家にいるのだが」  
be 動詞は、主語が単数でもふつう were  
にする。

(2) 「明日雨が降ったら家にいます」  
この文は仮定法ではない。I'll は I will の  
短縮形で、if 節は単なる未来の仮定を  
表している。

(3) 「彼らがここにいたら、私は彼らと  
話ができるのだが」主語が they で複数  
を表すので、was が使われることはない。  
(4) 「彼女の住所を知っていたら、彼女  
に手紙を書くのだが」一般動詞を過去  
形にする。  
(5) 「たくさんお金があったらそのコン  
ピュータが買えるのだが」

**2** 答 (1) イ (2) イ (3) イ  
(4) ウ (5) エ

考え方 (1) 「もっと若かったらあなたといっし  
ょにそこへ行くのだが」  
(2) 「もし私があなたの立場なら、私はそう  
はしないでしょう」if 節が後半にくる文。  
(3) 「十分な時間があったらその問題が  
解けるのだが」  
(4) 「お金がたくさんあったら外国へ行  
けるのだが」  
(5) 「この町の地図があったら彼の家を  
見つけられるのだが」

**3** 答 (1) If he were here, I would be  
happy.  
(2) If I had the book, I could read it  
now.

考え方 (1) if 節の主語は he。  
(2) 主節は助動詞 could のあとに動詞  
の原形 read を続ける。

P.118・119

**1** 答 (1) 私が十分に裕福だったらその車が買  
えるのだが。  
(2) 私に翼があったらあなたのところへ飛ん  
で行くのだが。  
(3) かぜをひいていなかったら、私はあなた  
といっしょにそこへ行くのだが。  
(4) 彼がいいピッチャーだったら、私たちは  
この試合に勝てるのだが。

考え方 (1) 実際は、裕福でないので買えない  
ということ。  
(2) 実際は、翼がないので飛んで行け

ないということ。

(3) 実際は、かぜをひいているので行け  
ないということ。

(4) 実際は、いいピッチャーではない  
ので勝てないということ。

**2** 答 (1) イ (2) ウ (3) エ (4) ア

考え方 ① (1) 「もし太陽が輝かなかつたら、どん  
なのも生きていられないだろう」

(2) 「忙しくなかつたら、彼はここに  
くるのだが」

(3) 「雨が降っていなかつたら、私は水  
泳に出かけるのだが」

(4) 「彼女の電話番号を知っていたら、  
私は彼女に電話をかけるのだが」

**3** 答 (1) were, would (2) would, had  
(3) were[was], could

考え方 ① (1) you にはもともと are を使うので、  
was になることはない。

(2) if 節が後半にきている。

(3) I なので were か was を使う。

**4** 答 (1) were[was], could  
(2) studied, would be

考え方 ① 書きかえた文の意味は以下の通りになる。

(1) 「忙しくなかつたら、私は自分の子  
どもたちと遊べるのだが」

(2) 「熱心に勉強したら、あなたはいい  
生徒になれるのに」

**5** 答 (1) If it were not rainy  
(2) could send your photo to

考え方 ① (1) if 節に be 動詞を使う。

(2) 助動詞の過去形 could のあとに動詞  
の原形 send を使う。

**6** 答 (1) If I had more money, I could  
buy this car. / I could buy this car if  
I had more money.

(2) She would be happy if she heard  
the news. / If she heard the news,  
she would be happy.

(3) If I were[was] you, I would study  
harder. / I would study harder if I  
were[was] you.

考え方 ① いずれも仮定法過去の文。if 節が後半  
にくる文では、if の前にコンマ(,)を打

たないのがふつう。

## セクション 10-2 仮定法過去②

### ポイント確認ドリル

P.121

**1** 答 (1) wish (2) were (3) was  
(4) had (5) could

考え方 ① (1) 「あなたがここにいてくれたらなあ」  
現在の事実と反する願望を表す文に hope  
は使えない。

(2) 「彼らが今ひまだったらなあ」主  
語が複数なので was は使えない。

(3) 「もっとずっと背が高かったらなあ」  
口語では were の代わりに was も使わ  
れる。

(4) 「もっと時間があつたらなあ」

I wish の文に現在完了形は使わない。

(5) 「もっと速く走れたらなあ」助動詞  
の過去形のあとに動詞の原形を続ける。

**2** 答 (1) he were[was] (2) I knew  
(3) could attend

考え方 ① (1) 「彼が日本にいないのが残念です」  
→「彼が日本にいればなあ」

(2) 「彼の電話番号を知らないのが残念で  
す」→「彼の電話番号を知っていればなあ」

(3) 「パーティーに主席できないのが残念  
です」→「パーティーに出席できたらなあ」

**3** 答 (1) I wish I had a new computer.  
(2) I wish my grandmother were alive.

考え方 ① (1) 一般動詞 have を過去形にして使  
う。I'm sorry I don't have a new  
computer. が現実の状態。

(2) be 動詞を過去形にして使う。I'm  
sorry my grandmother is not alive.  
が現実の状態。

P.122・123

**1** 答 (1) (私が)もう少し背が高かったらなあ。  
(2) (私が)そのコンピュータの使い方を知  
っていたらなあ。

(3) あなたは妹(姉)がいたらいいなどは思  
いませんか。

(4) 彼は父親と同じくらい速く走ることが  
できればいいなと思っています。

考え方 ① 事実関係の文の意味は次の通り。

- (1) 「少し背が低いのが残念です」  
 (2) 「そのコンピュータの使い方がわからないのが残念です」  
 (3) 「妹〔姉〕がいないのが残念ではありませんか」  
 (4) 「彼は父親と同じくらい速く走ることができなくて残念に思っています」

**2** 答 (1) see (2) had  
 (3) were (4) stop

**考え方** ① (1) hope to ~「~することを希望する」の文。仮定法の文ではない。hope を願望を表す仮定法の文に使うことはできない。  
 (2) she has more time to play という文をもとに考えてみよう。  
 (3) he is more popular among them という文をもとに考えてみよう。  
 (4) it will stop raining という文をもとに考えてみよう。

**3** 答 (1) wish, were [was]  
 (2) wish, had  
 (3) wish, could speak

**考え方** ① (1) I am rich という文をもとに考えてみよう。主語が I なので was でもよい。  
 (2) I have two computers という文をもとに考えてみよう。  
 (3) I can speak French という文をもとに考えてみよう。

**4** 答 (1) wish Kate lived  
 (2) wish you could stay here

**考え方** ① 書きかえた文の意味は次の通り。  
 (1) 「ケイトが京都に住んでいればいいのになあ」  
 (2) 「あなたがここにもっと長くいらればいいのになあ」

**5** 答 (1) wish they would stop  
 (2) wish I could sing this  
 (3) wish I were with my girlfriend all the

**考え方** ① (1) they will stop fighting という文をもとに考えてみよう。  
 (2) I can sing this song という文をもとに考えてみよう。

(3) I am with my girlfriend all the time という文をもとに考えてみよう。

**6** 答 (1) I wish I knew the way to the station.  
 (2) I wish I were [was] stronger than you.

**考え方** ① (2) be 動詞を過去形にして使う。

## セクション 11 -1 前置詞①

### ポイント確認ドリル P.125

**1** 答 (1) him (2) me (3) saying  
 (4) skating

**考え方** ① (1)・(2) 代名詞が前置詞の目的語になるときは目的格に。  
 (3)・(4) 不定詞は前置詞の目的語になることはできないので動名詞にする。

**2** 答 (1) B (2) A (3) A  
 (4) B (5) B (6) A

**考え方** ① (1) 「テーブルの上の辞書」  
 (2) 「テーブルの上に置いた」  
 (3) 「この部屋で食べるな」  
 (4) 「このクラスの生徒」  
 (5) 「チョウに関する本」  
 (6) 「約10分前に来た」

**3** 答 (1) Travel by plane is expensive.  
 (2) What are you looking at?

**考え方** ① (1) by plane は travel を修飾する形容詞句。  
 (2) look at ~で「~を見る」。at の目的語が What になる。

P.126・127

**1** 答 (1) E (2) E (3) O

**考え方** ① いずれも前置詞が後置される形。  
 (2) 主語になる The boy のあとに目的格の関係代名詞が省略されている。この関係代名詞が to の目的語になる。

**2** 答 (1) 黒い髪の毛の少女は私の妹〔姉〕です。  
 (2) 私はそこへ妹〔姉〕といっしょに行きたくありません。  
 (3) 私は何も書くことはありません。  
 (4) 私は何も書くもの〔筆記具〕がありません。

**考え方** ① (3) write about ~で「~について書く」。



(4) write with ~で「~を使って書く」。

- 3** 答 (1) for, in (2) Where, from  
(3) stayed at

考え方 ① (1) in the room は副詞句。  
(2) Where が from の目的語。この文の Where は名詞的に使われている。  
(3) hotel のあとに目的格の関係代名詞が省略されている。

- 4** 答 (1) to, with (2) in

考え方 ① (1) 「彼には話し相手がいません」  
(2) 「理科は私が最も興味がある学科です」

- 5** 答 (1) What was he looking for?  
(2) Who is she talking with?

考え方 ① (1) 下線部は物。「彼は何を探していたのですか」  
(2) 下線部は人。「彼女はだれと話しているのですか」

- 6** 答 (1) is the letter from  
(2) lot of friends to play with

考え方 ① (1) The letter is from Tom. の下線部を疑問詞にした疑問文と考える。  
(2) play with ~で「~と遊ぶ」ということから考える。

- 7** 答 (1) Who is he waiting for?  
(2) The picture [pictures] (which / that) he is [he's] looking at is [are] very beautiful.

考え方 ① (1) Who が for の目的語。  
(2) 目的格の関係代名詞は省略可。

セクション **11-2** 前置詞 ②

▶▶ ポイント確認ドリル P.129

- 1** 答 (1) at (2) on (3) for  
(4) on (5) under (6) about

考え方 ① (1) 時刻の前には at。  
(2) 日にちや曜日、特定の日の前には on。  
(3) 期間の前には for。  
(4) 壁と接触状態になるので on。天井でも接触していれば on を使う。  
(5) 「~の下に」は under。  
(6) 「~について」は about。学問的・専門的なものについては on を使うことも

ある。books on Japanese history (日本史に関する本)。

- 2** 答 (1) School begins in April in Japan.  
(2) Come back by seven in the evening.

考え方 ① (1) 「月」の前には in。比較的広い場所にも in。  
(2) 「までに」と期限を表すのは by。evening [morning / afternoon] につく前置詞は in だが、特定の日の「夕方、朝、午後」になると、in ではなく on を使う。on Friday evening / on the morning of that day / on the afternoon of the 12th など。

P.130・131

- 1** 答 (1) by (2) on (3) for  
(4) at

考え方 ① (1) 「私はバスで学校へ行きます」/ 「10時まででそれを終えられますか」  
(2) 「誕生日に私の家に来てください」/ 「机の上に辞書があります」  
(3) 「私は6年間ここにずっと住んでいます」/ 「これはあなたへのプレゼントです」  
(4) 「私は駅であなたを待ちましょう」/ 「学校は8時半に始まります」。日本語で「学校は8時半から始まる」とあっても、School begins at eight thirty. で from eight thirty とはしないことも覚えておこう。

- 2** 答 (1) 新聞はドアのうしろにありますよ。  
(2) 氷山の水面下の部分は水面上の部分よりはるかに大きい。  
(3) 私は駅から1マイル以内(のところ)に住んでいます。  
(4) そのお金は3人の兄弟の間で分けられました。

考え方 ① (1) behind (～のうしろに) と in front of (～(～の前に)は対にして覚えておこう。  
(2) over the water だと氷山と水面が離れてしまうので使えない。  
(3) within は「～以内に」の意味。  
(4) among は3つ〔3人〕以上に使う。2つ〔2人〕には between を使う。

- 3** 答 (1) with (2) in (3) in

**考え方** ① (1) 「楽しい週末でしたか」—「はい。妹〔姉〕と買い物に出かけました」  
 (2) 「英語で書かれている本はどこで見つかりますか」—「すぐそこで見つかりますよ」  
 (3) 「私は長い間待たなければいけないのですか」—「あ、いや。すぐにもどります」

**4** **答** (1) **before** (2) **without saying**  
 (3) **During** (4) **by car**  
 (5) **without**

**考え方** ① (1) 「私はテレビを見ました。そのあとで宿題をしました」→「私は宿題をする前にテレビを見ました」  
 (2) 「彼は何も言わずに立ち去りました」。without は前置詞なのでこのあとには動名詞を続ける。  
 (3) 「ロンドンに滞在中に私は多くの友だちを作りました」。while は接続詞なので文が続き、during は前置詞なので名詞(相当語句)が続く。  
 (4) 「ボブはふつう会社に(車を)運転して行きます」→「ボブはふつう車で会社に行きます」  
 (5) 「私たちはおなかがすきすぎてもう働くことができません」→「私たちは食べるものがなければもうこれ以上働くことはできません」

**5** **答** (1) **is flying above the tree**  
 (2) **must return the book by Monday**

**考え方** ① (1) たこと木は接触状態にはないので on を使うことはできない。  
 (2) 「～までに」と期限を表すのは by。until[till](～までずっと)は前置詞と接続詞の用法があるが、by には前置詞としての用法しかないので、文を続けるときは by the time ～という形にする。

**6** **答** (1) **Please wait for me until[till] five (o'clock). / Wait for me until[till] five (o'clock), please.**  
 (2) **Spring comes after winter.**

**考え方** ① (1) 継続を表すのは until[till]。  
 (2) after(～のあとに)は before(～の前に)と対して覚えておこう。

**まとめのテスト⑨** P.132・133

**1** **答** 1 イ 2 イ 3 イ  
 4 ア 5 イ

**考え方** ① 1 would like to ～は want to ～の控え目な表現になる。  
 2 時制の一致で過去形に。  
 3 助動詞を2つ続けて使うことはできない。  
 4 時刻の前には at。  
 5 間接疑問文の語順に。

**2** **答** 1 私はその会の会員〔クラブの部員〕をすべて知っているわけではありません。  
 2 黒い髪の女の子は中国の出身です。

**考え方** ① 1 not ～ all で部分否定になる。  
 2 with, from の意味に注意。

**3** **答** 1 **didn't have[need]** 2 **nothing**  
 3 **by** 4 **in** 5 **about**

**考え方** ① 1 don't have to の過去の文。  
 2 「何も～ない」を1語で表すと nothing。  
 3 「～までに」と期限を表すのは by。  
 4 「～で、～たったら」と時間の経過を表すのは in。  
 5 「～について」は about。

**4** **答** 1 **not able** 2 **since**

**考え方** ① 1 「彼は速く歩けませんでした」。be able to の過去の否定文にする。  
 2 「トムはこの前の8月に東京に来て、まだ東京にいます」→「トムはこの前の8月から東京にいます」。「～以来」と過去の開始時点を表すのは since。

**5** **答** 1 **Who was Tom talking with?**  
 2 **He said that he had a car made in Japan.**

**考え方** ① 1 下線部は人を表しているので Who を使う。「トムはだれと話していましたか」  
 2 時制の一致で that 節の動詞も過去形に。「彼は日本製の車を持っていると言いました」

**6** **答** 1 **We had to work in the rain yesterday.**  
 2 **This is a nice house to live in.**

**考え方** ① 1 must が不要。have to を過去形に

して使う。yesterday は文頭でもよい。  
2 on が不要。live in a nice house から考える。

**7** ① 1 There was little water in the glass.

2 He had to find something to sit on.

① 1 a のない little は「ほとんどない」の意味。数えられない名詞につく。数えられる名詞につくのは few。

2 「～にすわる」は sit on ～であることから考える。

### まとめのテスト⑩

P.134・135

**1** ① 1 ア 2 イ 3 ア  
4 イ 5 イ

① 1 「私はその町にほとんど友だちがいませんでした」。few は数えられる名詞につく。

2 「あなたは今日家にいたほうがいい」。had better ～で「～したほうがいい」。

3 「私は外国の切手を集めることに興味があります」。前置詞の目的語になるのは動名詞。

4 「彼はこの前の10月から日本にいます」。過去の開始時点を表すのは since。

5 「これは彼が住んでいる家です」。

**2** ① 1 彼らは全員、もう少し若ければなあと思っています。

2 空は私たちの頭の上であり、地面は足の下にあります。

① 1 願望を表す仮定法過去の文。  
2 over, under の対比に注意しておこう。

**3** ① 1 should 2 very [so]  
3 no 4 between 5 for

① 1 「～すべきである」は should ～。  
2 not very ～で「あまり～ない」。

3 この文の no は形容詞の働き。  
4 「2つ」の間になるので among ではなく between を使う。

5 「～に賛成」は for。「反対」には against を使う。

**4** ① 1 nothing 2 during

① 1 「私は食べるものを何も持っていま

せん」。not anything で nothing の意味。  
2 「私はロンドン滞在中にホワイトさんを訪ねました」。while のあとには節が、during のあとには句が続く。

**5** ① 1 You will have to study French next year.

2 The man that Tom was speaking to was Mr. Hill.

① 1 「来年はあなたはフランス語を勉強しなければならないでしょう」。will と must を続けて使うことはできない。

2 「トムが話していた男の人はヒルさんでした」。that は to の目的語になる。

**6** ① 1 Not all American people like hamburgers.

2 My aunt in Paris doesn't know much about London.

① 1 no が不要。部分否定の文。  
2 for が不要。「～について」は about。

**7** ① 1 I knew (that) he was a high school student.

2 Come here by five (o'clock). I will [I'll] wait for you until [till] then.

① 1 時制の一致で that 節の動詞は was になる。

2 by は「～までに」という期限を表し、until [till] は「～までずっと」と継続を表す。

1 答 1 △ 2 × 3 ○

考え方① 1 [u:]と[u]。 2 [i:]と[ei]と[e]。  
3 いずれも[ei]。

2 答 1 caught 2 would  
3 teeth 4 hasn't 5 twelfth  
6 better

考え方① 1 原形と過去(分詞)形。  
2 助動詞の原形と過去形。➡34  
3 単数形と複数形。 4 短縮形。  
5 基数と序数。 6 原級と比較級。

3 答 1 not, yet 2 known to[by]  
3 how to 4 who[that]  
5 had better 6 little

考え方① 1 現在完了の「完了」の否定文。➡6  
2 be known to ~の受動態。➡10  
3 〈疑問詞+to ~〉➡15  
4 先行詞が「人」で主格の関係代名詞。  
➡22・24  
5 連語で助動詞の働きをする。➡35  
6 a がつかないことに注意。➡36

4 答 1 what to 2 possible

考え方① 1 上は間接疑問文で, should は「~すべき」の意味。〈疑問詞+to ~〉で表す。  
➡15・31・34  
2 as ~ as one can = as ~ as possible。「できるだけ~」。➡21

5 答 1 English is not[isn't] spoken in this country.

2 This English book is so difficult that I can't[cannot] read it.

3 This is the book which[that] he bought yesterday.

考え方① 1 by ~は, 「この国の人々」を指していることは明らかなので省略する。➡9  
2 too ~ to ...で「あまりに~で...できない」の意味。➡18・21  
3 先行詞が「物」なので which か that を使う。なお, 目的格なので省略しても正しい文になる。➡25・26

6 答 1 It is difficult for me to answer the question.

2 I have taught English at this school for three years.

考え方① 1 It は形式主語。of が不要。➡17  
2 since が不要。➡3

7 答 1 I am[I'm] not interested in this book.

2 Who is[Who's] the boy (that is) talking with[to] my sister over there?

考え方① 1 in を使うことに注意。➡10  
2 ( )を省くと後置の現在分詞になる。疑問詞 Who があるから関係代名詞には that を使う。➡11・24

1 答 1 △ 2 ○ 3 ×

考え方 ① 1 上の2つが[a]。下が[ʌ]。  
2 いずれも[au]。  
3 [æ]と[ɔ:]と[ei]。

2 答 1 putting 2 whose  
3 hour 4 himself 5 late  
6 feet

考え方 ① 1 tを重ねる。  
2 主格と所有格。  
3 同じ発音をするもの。  
4 再帰代名詞に。 5 反意語。  
6 単数形と複数形。

3 答 1 ever seen 2 by  
3 enough to 4 who [that]  
5 want you 6 spoken

考え方 ① 1 「経験」の疑問文。→ 2  
2 期限を表す前置詞。→ 42  
3 不定詞を使った表現に。→ 18  
4 先行詞が「人」で主格の関係代名詞。  
→ 22・24  
5 <want ... to ~>の形。→ 16  
6 後置の過去分詞。→ 12

4 答 1 which [that] 2 able to

考え方 ① 1 which [that]は目的格の関係代名詞。  
→ 12・25・26  
2 be able to ~の文にする。→ 35

5 答 1 I thought that she would come  
to the party.  
2 How long [How many years] has  
he studied English?  
3 Was this computer used by him?

考え方 ① 1 時制の一致を考える。→ 34  
2 「継続」の疑問文。→ 4  
3 受動態の疑問文。→ 9・10

6 答 1 He asked me to wash the car.  
2 Please tell me where to buy the  
book.

考え方 ① 1 for が不要。→ 16  
2 buying が不要。→ 15

7 答 1 Please don't call me "Boku-  
chan." / Don't call me "Boku-chan",  
please.  
2 Can you come [be] back in fifteen  
minutes?

考え方 ① 1 <SVOC>の文。→ 30  
2 in の意味に注意。→ 42

1 答 1 △ 2 × 3 ○

考え方 ① 1 上の2つが[θ]。下が[ð]。  
2 [ou]と[ʌ]と[ɔ(:)]。  
3 いずれも[ə:r]。

2 答 1 spoke 2 west 3 easy  
4 leaf 5 twice 6 children

考え方 ① 1 原形と過去形。 2 北⇔南, 東⇔西。 3 反意語。 4 複数形と単数形。 5 「～回」の表し方。➡ 1  
6 単数形と複数形。

3 答 1 As soon 2 sit on  
3 was, surprised 4 not, but  
5 too, to 6 this is

考え方 ① 1 連語の従属接続詞。➡ 21  
2 前置詞があとにくる。sit on ～で「～に腰かける, ～にすわる」。➡ 41  
3 by 以外の前置詞を使う受動態。➡ 10  
4 連語の等位接続詞。➡ 20  
5 too ... to ～の文。➡ 18  
6 間接疑問文の語順に。➡ 31

4 答 1 to know 2 how to

考え方 ① 1 原因を表す副詞的用法の不定詞を使

う。➡ 14

2 〈疑問詞+to ～〉を使う。➡ 15

5 答 1 You didn't consult the dictionary, did you?

2 How many times [How often] has he been to England?

3 Mother bought a new dress for me.

考え方 ① 1 主文が過去の否定文。➡ 32  
2 回数をたずねる言い方。➡ 2  
3 buy には to ではなく for。➡ 29

6 答 1 Do you know who broke the vase?

2 He can speak not only English but also French.

考え方 ① 1 did が不要。➡ 31  
2 too が不要。➡ 20

7 答 1 Don't you know my address?  
— No, I don't [do not].

2 The girl who [that] bought the dictionary is [was] not [isn't / wasn't] my sister.

考え方 ① 1 否定疑問文にする。➡ 33  
2 先行詞が「人」で, 主格の関係代名詞。➡ 22・24

1 答 1 △ 2 × 3 ○

考え方 ① 1 まん中が[s]。ほかは[z]。  
2 [id]と[t]と[d]。  
3 いずれも[ʌ]。

2 答 1 men 2 under  
3 easily 4 swimming  
5 kept 6 scientist

考え方 ① 1 単数形と複数形。  
2 反意語。→ 42  
3 形容詞と副詞。  
4 原形と現在分詞。  
5 原形と過去(分詞)形。  
6 「～する人」の意味の語に。

3 答 1 fond of 2 few  
3 not, every 4 should not  
5 can't you 6 found, interesting

考え方 ① 1 前置詞のあとの動名詞に注意。→ 13  
2 not を使わない否定表現。→ 36  
3 部分否定。→ 36  
4 should の否定文。→ 34  
5 付加疑問文。→ 32  
6 (SVO)の第5文型の文。→ 30

4 答 1 interested in 2 Both, and

考え方 ① 1 「アメリカの歴史は私にはおもしろい」→「私はアメリカの歴史に興味があります」と考える。→ 10  
2 「トムだけでなく私もコンサートに

行きました」→「トムと私の2人ともコンサートに行きました」と考える。→ 20

5 答 1 He told me to read the book.  
2 It is impossible[It is not possible] for me to solve the problem.  
3 He is tall enough to touch the ceiling.

考え方 ① 1 tell ... to ～の形にする。→ 16  
2 impossible という形容詞を思いつけるかどうかポイント。→ 17  
3 enough の位置に注意。→ 18

6 答 1 I have not cleaned the room yet.  
2 He has two cars made in America.

考え方 ① 1 「完了」の否定文。already が不要。yet を not の直後に置いてもよい。→ 6  
2 後置の過去分詞。making が不要。→ 12

7 答 1 The white house (which / that) you[we] can see over there is my uncle's.  
2 I did not[didn't] know who was in the room.

考え方 ① 1 which / that は目的格なので省略可能。また, see の前の can はなくてもよい。→ 25・26・27  
2 who 以下は間接疑問文の語順にするが, who は主語になっているので, もとのままでよい。また, was とするのは時制の一致のため。→ 31・34



2102R1